

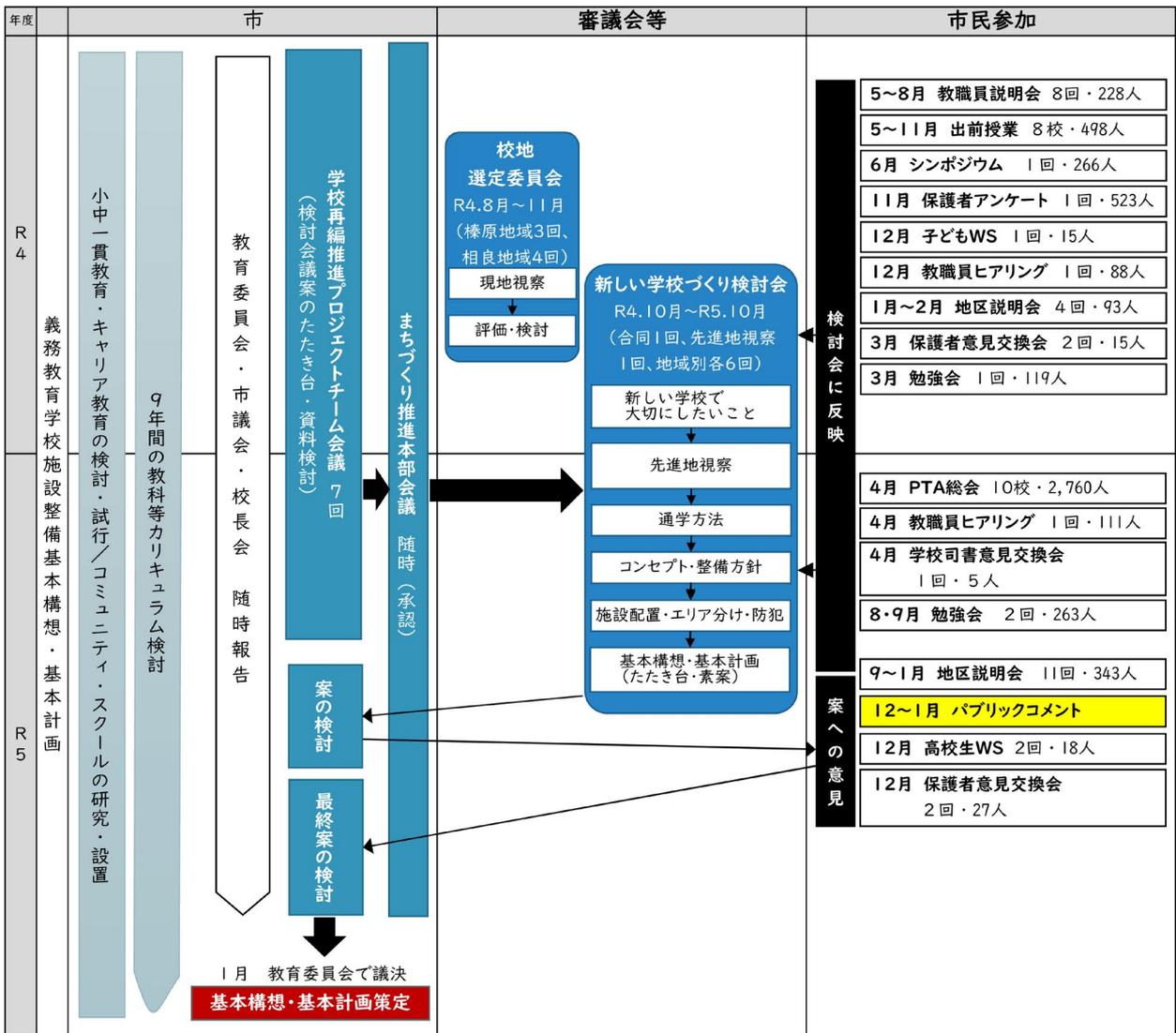
【資料編】

- 1 義務教育学校施設整備基本構想・基本計画
策定までの流れ ……P 60～P 61
- 2 学校用地候補地選定委員会 設置要綱 ……P 62～P 63
- 3 学校用地候補地選定委員会 委員名簿 ……P 64
- 4 学校用地候補地選定委員会 開催状況 ……P 65
- 5 新しい学校づくり検討会 設置要綱 ……P 66～P 67
- 6 新しい学校づくり検討会 委員名簿 ……P 68
- 7 新しい学校づくり検討会 開催状況及び
意見まとめ ……P 69～P 106
- 8 新しい学校づくりに係る市民参加、
周知等一覧 ……P 107～P 116



義務教育学校施設整備基本構想・基本計画策定までの流れ

年度	市	審議会	市民参加
H 27	第2次総合計画 重点戦略「若者が魅力と感じる教育環境の実現」 教育大綱 「子どもたちが学びやすい環境を整えるため小学校の規模と配置の適正化を図ります」		
H 28	公共施設マネジメント基本計画 「魅力ある教育環境を実現するため、小中学校再編計画を策定します」		
H 29	望ましい教育環境のあり方に関する方針	<p>7月 教育講演会 86人（就学前保護者、小中学校保護者、小中高教員、自治会、高校生、一般、教育委員会、議員、三役、市職員） みんなで学ぶ</p> <p>7月 諮問</p> <p>H30.2月～H30.11月（6回）</p> <p>目指す姿（つきたいカ・体制）</p> <p>学ぶ（研修、先進地視察研修）</p> <p>実現に向けての方針 ・次代を切り拓く力 ・キャリア教育を軸とした小中一貫教育 ・クラス替えてできる規模 ・安全・安心</p> <p>答申報告会（+講演会）</p> <p>H31.3月 方針を策定</p>	<p>7～9月 学校説明会 12校・370人</p> <p>10月 意見交換会 2回・79人 （就学前保護者、小中学校保護者、小中高教員、自治会、高校生、一般、教育委員会、議員、三役、市職員） テーマ「10～15年後の望ましい教育環境」 ・クラス替えができる規模 ・津波浸水想定区域外の安全な場所 ・施設の複合化・共有化 ・地域との関わり・体験学習</p> <p>11月 PTA連絡協議会 24人</p>
R 1	小中一貫教育・キャリア教育の検討・試行／コミュニティ・スクールの研究・設置	<p>H30.4月～R3.1月</p> <p>学校再編WG 14回（たたき台・資料検討）</p> <p>まちづくり推進本部会議 随時（承認）</p> <p>教育委員会・市議会・校長会 随時報告</p> <p>9年間の教科等カリキュラム検討</p> <p>6月 教育シンポジウム 107人（就学前保護者、小中学校保護者、小中高教員、自治会、高校生、一般、教育委員会、議員、三役、市職員） みんなで学ぶ</p> <p>R1.9月～R3.3月（10回+メール審議）</p> <p>学ぶ あり方・国の施策・ファシリティマネジメント 市内の学校視察・先進地視察</p> <p>検討 目指す学校像 規模・校数 機能等</p> <p>まとめ・素案づくり</p> <p>答申</p>	<p>4～12月 家庭教育学級・地区セミナー・学校保護者説明会 3回・123人</p> <p>6～8月 地区説明会 13回・211人</p> <p>10月 意見交換会 9回・565人 （就学前保護者、小中学校保護者、自治会、一般、教育委員会、議員、三役、市職員） ・2校の小中一貫校案への意見聞く ・2校または3校に8割以上賛同</p> <p>11月 インターネット意見募集・未就学児保護者インタビュー・PTA連絡協議会 66人 2校案等についての意見</p> <p>2月 中学生・中学生以下の子どもの保護者へのオンラインアンケート 1,165人 インターネット意見募集 17件</p>
R 2	学校再編計画		
R 3		<p>R3.4月～R4.3月</p> <p>学校再編検討会 5回</p> <p>学校再編部課長会議 3回</p> <p>まちづくり推進本部会議 6回</p> <p>計画策定</p>	<p>素案への意見</p> <p>6～7月 高校生等（ワーク） 3回・55人</p> <p>7月 保護者意見交換会 1回・7人</p> <p>7～8月 学校説明会 12回・164人</p> <p>8～10月 地区意見交換会 3回・157人</p> <p>10～11月 希望地区説明会 2回・91人</p> <p>計画案</p> <p>12月 地区説明会 3回・172人</p> <p>12月 保護者意見交換会 3回・19人</p> <p>12～1月 教職員アンケート 300人</p> <p>修正案</p> <p>2月 保護者オンライン説明会 4回・20人</p> <p>2月 パブリックコメント 65人・158件</p>



牧之原市学校用地候補地選定委員会設置要綱

(設置)

第1条 未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画に基づき、新しく学校を建設するにあたり、専門的知見や地域性を踏まえて総合的に検討し、学校用地として最適な場所を選定するため、関係者から意見を聞き、検討する組織として、牧之原市学校用地候補地選定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について協議し、その結果を教育委員会に報告するものとする。

- (1) 学校用地の選定の方向性に関する事項
- (2) 学校用地の評価及び最有力候補地の選定
- (3) その他、学校用地の選定に関し必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) まちづくりの知識や経験が豊富な者
- (3) 自治会関係者
- (4) 学校関係者
- (5) 市内の幼稚園、保育園、こども園、小学校又は中学校の保護者代表

(任期)

第4条 委員の任期は、第2条に掲げる事項が完了したときまでとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 3 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。
- 4 会議には、必要に応じて分科会を置くことができる。

(報償等)

第7条 委員が、委員会の会議に出席した場合は報償金を支払うものとする。

- 2 報償金の額は、牧之原市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例（平成17年牧之原市条例第39号）別表の規定に準ずる額とする。ただし、会議が午前又は午後のみの場合は日額の半額とする。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

(委任)

第9条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この告示は、公布の日から施行する。

(最初の会議の招集)

- 2 この告示の施行後最初の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育長がこれを招集する。

牧之原市学校用地候補地選定委員会委員名簿

		分類	所属	役職等	氏名
1	共通	まちづくりの知識や 経験が豊富な者	佐藤経済研究所	都市計画審議会 会長	◎佐藤 克昭
2		学識経験を有する者	静岡大学教育学部	准教授	○島田 桂吾
3		学識経験を有する者	静岡県交通基盤部 建築工事課	課長代理	横田 恭子
4		学校関係者	相良中学校	市校長会会長	永田 初穂
5	榛原地域	自治会代表	静波区	区長	杉山 勉
6		自治会代表	細江区	区長	中山 道博
7		自治会代表	川崎区	区長	片瀬 徹
8		自治会代表	勝間田区	区長	村松 直巳
9		自治会代表	坂部区	区長	板倉 元
10		保護者代表	勝間田小学校	地区 PTA 連絡協議会 副会長	本杉 康丞
11	相良地域	自治会代表	相良地区長	大江区長	矢部 友昭
12		自治会代表	片浜地区長	片浜区長	大石 茂生
13		自治会代表	菅山地区長	菅山区長	田中 行男
14		自治会代表	萩間地区長	神寄区長	畠 寿夫
15		自治会代表	地頭方地区長	落居区長	曾根 優治
16		保護者代表	菅山小学校	PTA 会長	中島 京

◎委員長 ○副委員長（敬称略）

牧之原市学校用地候補地選定委員会開催状況

【榛原地域】

会議	日時	内容
第1回 ※相良地域と合同開催	8月31日(水) 13:30～16:30	・情報提供(学校再編計画・校地絞込の考え方) ・候補地現地視察
第2回	9月15日(木) 13:00～14:30	・各候補地についての意見交換 ・各候補地の状況まとめ
第3回	10月7日(金) 13:00～14:30	・個別評価と委員会評価 ・提案事項の検討

【相良地域】

会議	日時	内容
第1回 ※榛原地域と合同開催	8月31日(水) 13:30～16:30	・情報提供(学校再編計画・校地絞込の考え方) ・候補地現地視察
第2回	10月7日(金) 15:00～16:45	・候補地の追加(3か所→5か所へ) ・追加候補地の意見交換 ・各候補地の状況まとめ
第3回	10月26日(水) 13:30～15:30	・各候補地の意見交換 ・個別評価と委員会評価 ・提案事項の検討
第4回	11月28日(月) 14:30～15:30	・候補地の情報提供 ・候補地協議 ・評価と提案事項の検討

牧之原市新しい学校づくり検討会設置要綱

(設置)

第1条 未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画に基づき、学校施設整備基本構想・基本計画を策定するにあたり、広く関係者からの意見を聴取し、反映するために、牧之原市新しい学校づくり検討会（以下「検討会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 検討会は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 学校施設整備に係る基本構想に関すること。
- (2) 学校施設整備に係る基本計画に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育長が必要と認める事項に関すること。

(組織)

第3条 検討会は、委員45人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育長が選任する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 自治会関係者
- (3) 学校関係者
- (4) 市内の幼稚園、保育園、こども園、小学校又は中学校の保護者代表

(任期)

第4条 委員の任期は、2年以内とする。

(会長及び副会長)

第5条 検討会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、検討会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 検討会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 3 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。
- 4 会議には、必要に応じて分科会を置くことができる。

(報償等)

第7条 委員が、検討会の会議に出席した場合は報償を支払うものとする。

- 2 報償の額は、牧之原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に

関する条例（平成17年牧之原市条例第39号）別表の規定に準ずる額とする。ただし、会議が午前又は午後のみの場合は日額の半額とする。

（庶務）

第8条 検討会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

（委任）

第9条 この告示に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

（施行期日）

1 この告示は、公布の日から施行する。

（最初の会議の招集）

2 この告示の施行後最初の会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育長がこれを招集する。

牧之原市新しい学校づくり検討会委員名簿

【共通】

				令和4年度	令和5年度
分類	所属	役職等	氏名	氏名	
1	専門的な知識を有する者	静岡大学教育学部	准教授	◎ 島田 桂吾	〃
2		静岡県教育委員会事務局 教育施設課	技監	横田 恭子	〃

【榛原地域】

				令和4年度	令和5年度
分類	所属	役職等	氏名	氏名	
3	自治会代表	静波区	区長	杉山 勉	〃
4		細江区	区長	中山 道博	〃
5		川崎区	区長	片瀬 徹	〃
6		勝間田区	区長	村松 直巳	〃
7		坂部区	区長	○ 板倉 元	〃
8	学校関係者	川崎小学校	校長	杉山 順子	〃
9		細江小学校	校長	原口 徹也	仲田 芳弘
10		勝間田小学校	校長	板倉 康弘	原田 正裕
11		坂部小学校	校長	北島 克己	竹下 知行
12		榛原中学校	校長	大石 友巳	杉田 雅良
13		CSD 代表	川崎小学校 CSD	村上 和秋	〃
14	小中保護者代表	川崎小学校	保護者	川村 義人	〃
15		細江小学校	保護者	折田 藍	〃
16		勝間田小学校	保護者	武田 てるみ	〃
17		坂部小学校	保護者	大石 将光	〃
18		榛原中学校	保護者	大石 寛之	石神 綾子
19	幼保こども園保護者代表	静波保育園	保護者	太田 佳子	河田 嘉恵
20		細江保育園	保護者	鍋田 雄二	〃
21		勝間田保育園	保護者	舛谷 綾子	〃
22		坂部保育園	保護者	平 幹也	〃
23	市内企業	市内大手企業	伊藤園産業	山下 敦子	〃
24		市内中小企業(商工会代表)	(株)野村商店	野村 友香	〃

【相良地域】

				令和4年度	令和5年度
分類	所属	役職等	氏名	氏名	
3	自治会代表	相良地区長	大江区長	矢部 友昭	宮部 勉
4		片浜地区長	片浜区長	○ 大石 茂生	〃
5		菅山地区長	菅山区長	田中 行男	川田 和弘
6		萩間地区長	神寄区長	島 寿夫	中山 香
7		地頭方地区長	落居区長	曾根 優治	〃
8	学校関係者	相良小学校	校長	杉山 浩	〃
9		菅山小学校	校長	中村 康幸	〃
10		萩間小学校	校長	櫻井 真弓	〃
11		地頭方小学校	校長	小柳津 敏法	〃
12		相良中学校	校長	永田 初穂	北島 克己
13		CSD 代表	相良小学校 CSD	今野 剛也	〃
14	小中保護者代表	相良小学校	保護者	澤田 理成	三浦 七重
15		菅山小学校	保護者	中島 京	〃
16		萩間小学校	保護者	鈴木 絵里	〃
17		地頭方小学校	保護者	秋野 翔平	〃
18		相良中学校	保護者	絹村 一喜	〃
19	幼保こども園保護者代表	御前崎中学校	保護者	原口 つかね	〃
20		あおぞら保育園	保護者	児玉 龍典	〃
21		菅山保育園	保護者	原田 めぐみ	〃
22		萩間保育園	保護者	大石 信乃	糸日谷 かな子
23	市内企業	地頭方保育園	保護者	櫻井 昭紀	曾根 由多
24		市内大手企業	TDK (株)	大竹 茂樹	〃
25		市内中小企業(商工会代表)	相良物産(株)	山本 明男	〃

◎会長 ○副会長 (敬称略)

牧之原市新しい学校づくり検討会開催状況

【相良地域】

会議	日時	内容
第1回 ※榛原地域と同時開催	令和4年 10月21日(金) 13:30～16:30	・再編計画の内容と検討会の進め方 ・新しい学校の事例紹介 ・意見交換(新しい学校で大切にしたいこと)
視察 ※榛原地域と同時開催	令和4年 11月22日(火) 8:40～18:00	・愛知県瀬戸市立にじの丘学園視察 ・1～9年生が共に学んでいる先進的な学校施設を見学
第2回	令和4年 12月22日(木) 15:00～16:30	・情報提供(候補地、通学について) ・意見交換(対象学年と距離、スクールバスと路線バス、有償・無償、その他通学について)
第3回	令和5年 2月9日(木) 15:00～16:30	施設の使い方・学校のコンセプト ・情報提供(先進地視察の報告) ・意見交換(①施設の使い方 ②コンセプトを考える)
第4回	令和5年 5月12日(金) 13:30～16:30	・学校のコンセプトと整備方針(案) ・必要諸室と施設の複合化・多機能化・高機能化(案)
第5回	令和5年 7月12日(水) 13:30～16:00	・学校施設と施設配置(案) ・エリア分けと動線(案)
第6回	令和5年 9月29日(金) 13:30～16:00	・地域開放と防犯について ・基本構想・基本計画(たたき台)について
第7回	令和5年 10月24日(火) 13:30～16:00	・基本構想・基本計画(素案)について

【相良地域】 検討会意見から コンセプトへのキーワード

第1回検討会 相良地域「あなたが新しい学校で大切にしたいこと」意見まとめ
 第3回検討会 相良地域「施設の使い方・学校のコンセプト」意見まとめ

*グループで「C」がつくものは
 第3回目検討会での意見

学校再編計画 基本方針		学校再編計画 方策		意見の分類		意見		(検討会) 相良地域の意見	
コンセプトへの キーワード		大分類		中分類		意見		グループ分類	
1 すべての子供が主役の学校	(1) 学びのサポート体制 (2) 心のサポート体制 (3) インクルーシブ教育の充実 (4) 小中一貫教育の推進	① 学習支援サポーターの配置	学校が楽しい		子どもたちが学校に来ることが楽しいと思える学校	個性尊重、楽しい学校	4		
		② 学校図書館司書の配置	個性を伸ばす		個性を重視、尊重する	個性尊重、楽しい学校	4		
		① スクールカウンセラーの連携強化	個性を伸ばす		個性をつぶさない	個性尊重、楽しい学校	4		
		② SSWとの連携強化	個性を伸ばす		自分の好きな事が伸ばせる	学び	6		
		③ 不登校児童・生徒等への支援	個性を伸ばす		「愛と個性を育む」みんなの学校	-	2C		
		① 多様性への対応	子ども主体・主体性	子どもの心を守り安心して通える	子どもたちの心が安心して通える	安全・安心	6		
		② 特別支援教育の充実	子ども主体・主体性	一番大切にしたい「子ども主体」は大切に	一番大切にしたい「子ども主体」は大切に	子ども主体	6		
		③ 外国人児童生徒等への支援	交流・協力	ジェンダーレス	ジェンダーレス	人間関係	5		
		① 成長過程に応じた節目の設定	交流・協力	1〜9年生までがカベのない風通しの良い学校	1〜9年生までがカベのない風通しの良い学校	使いやすさ	4C		
		② 9学年を生かした行事の設定	交流・協力	異学年交流が自然とできる場	異学年交流が自然とできる場	異学年・オープンスペース	5		
2 次代を切り拓く力を育むために	③ 学校独自のカリキュラムづくり (1) キャリア教育の推進 (2) ICTを活用した学び	① 授業や教育活動における力の習得	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		② 起郷家教育プログラムの推進	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		① 情報活用能力の育成と個別最適な学び	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		② 遠隔・オンラインの活用	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		③ ICT支援員の配置	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		① 地域資源を活かした学び・体験	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		② 多様な体験	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		③ 特色ある学びがある学校	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		④ 地域資源を活かした学び・体験	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		⑤ 自然との関わり	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
3 次代を切り拓く力の育成	(1) キャリア教育の推進 (2) ICTを活用した学び	① 授業や教育活動における力の習得	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		② 起郷家教育プログラムの推進	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		① 情報活用能力の育成と個別最適な学び	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		② 遠隔・オンラインの活用	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		③ ICT支援員の配置	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		① 地域資源を活かした学び・体験	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		② 多様な体験	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		③ 特色ある学びがある学校	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		④ 地域資源を活かした学び・体験	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		
		⑤ 自然との関わり	未来・夢につながる		未来・夢につながる	個性尊重、楽しい学校	4		

*グループで「C」がつくものは
 第3回目検討会での意見

学校再編計画 基本方針		学校再編計画 方策		コンCEPTへのキーワード		意見の分類		(検討会) 相良地域の意見		グループ	
学校再編計画 基本方針	方策	大分類	中分類	大分類	中分類	意見	グループ分類	意見	グループ		
次代を切り拓く力の育成	(3) 国際理解・外国語教育の推進	①異文化に触れる・外国語を話す機会の拡充	未来・夢につながる	地域資源を活かした学び・体験	特色ある学校	千し学をつくる	日本でこしかない、子どもたちも先生もよそから人が来る	千し学をつくる	7		
	(4) 専門的な指導	②ALT(外国語指導助手)の配置	地域資源を活かした学び・体験	多様な体験	特色ある学校	収穫体験	日本でこしかない、子どもたちも先生もよそから人が来る	収穫体験	7		
子どもが安全に学校に通うために	(5) 少人数・個に応じた指導	①小学校高学年の教科担任制の導入	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	田んぼ、畑で地域の人と子どもが作業、アースランチができて	自然・地域	田んぼ、畑で地域の人と子どもが作業、アースランチができて	5		
	(3) 適切な通学手段の確保	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	自然を利用した授業(農業等)	学び	自然を利用した授業(農業等)	6		
3 安全・安心な学校	(1) 防災教育の推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	学校の中に竹林を植えて旬の収穫や竹炭を作って温暖化を学ぶ	自然教育	学校の中に竹林を植えて旬の収穫や竹炭を作って温暖化を学ぶ	2C		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	「自給自足」ができて地域とのかかわり	自然教育	「自給自足」ができて地域とのかかわり	2C		
4 地域の未来を担う子どもを育てる学校	(1) 防災教育の推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	海が好きになる勉強	新しい学び	海が好きになる勉強	7		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	サーフィン	子どもたちも先生もよそから人が来る	サーフィン	7		
5 働きやすい学校	(1) コミュニティ・スクールの推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	サーフィン授業(スケボーでも可)	施設(グラウンド系)	サーフィン授業(スケボーでも可)	5C		
	(2) 地域の活動と交流の場づくり	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	演劇を見るやる	日本でこしかない、子どもたちも先生もよそから人が来る	演劇を見るやる	7		
子どもが安全に学校に通うために	(1) 防災教育の推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	フリーピアノ	体験	フリーピアノ	4C		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	プロの技術が見れる音楽室プロの演奏者の方がいる	体験	プロの技術が見れる音楽室プロの演奏者の方がいる	4C		
4 地域の未来を担う子どもを育てる学校	(1) コミュニティ・スクールの推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	いろいろな経験(職業体験)ができる	学び	いろいろな経験(職業体験)ができる	6		
	(2) 地域の活動と交流の場づくり	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	冒険心を育てられる	自然・地域	冒険心を育てられる	5		
5 働きやすい学校	(1) コミュニティ・スクールの推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	自由に色んなことを体験できる	体験	自由に色んなことを体験できる	4C		
	(2) 地域の活動と交流の場づくり	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	学校で終わらせて家庭の時間を増やす、宿題なし	学習方法	学校で終わらせて家庭の時間を増やす、宿題なし	5		
子どもが安全に学校に通うために	(1) 防災教育の推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	セキユリティの面は大丈夫なのか?	疑問・問題点	セキユリティの面は大丈夫なのか?	5C		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	セキユリティの問題	通学	セキユリティの問題	5C		
4 地域の未来を担う子どもを育てる学校	(1) コミュニティ・スクールの推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	誰でも通いやすい(バスなど)	通学	誰でも通いやすい(バスなど)	4		
	(2) 地域の活動と交流の場づくり	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	9年間の通学で子どもたちに無理がないように、坂道がないとか	通学	9年間の通学で子どもたちに無理がないように、坂道がないとか	4		
5 働きやすい学校	(1) コミュニティ・スクールの推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	通学バスを日に何度も使えるのか?(遅れて学校に行く場合、その他)	疑問・問題点	通学バスを日に何度も使えるのか?(遅れて学校に行く場合、その他)	5C		
	(2) 地域の活動と交流の場づくり	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	安全に通学できる	安心・安全 命を守る	安全に通学できる	7		
子どもが安全に学校に通うために	(1) コミュニティ・スクールの推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	ゲストティーチャー、音楽、絵	学び	ゲストティーチャー、音楽、絵	6		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	地域との係り合い	絆	地域との係り合い	6		
4 地域の未来を担う子どもを育てる学校	(1) コミュニティ・スクールの推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	地域とのかかわり、信頼関係	自然・地域	地域とのかかわり、信頼関係	6		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	地域とのつながり	地域とのつながり	地域とのつながり	5		
5 働きやすい学校	(1) コミュニティ・スクールの推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	地域との関わり、コミュニティを大切にしたい	地域とのつながり	地域との関わり、コミュニティを大切にしたい	4		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	地域のことを学ぶ	地域とのつながり	地域のことを学ぶ	4		
子どもが安全に学校に通うために	(1) コミュニティ・スクールの推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	子どもと先生とのつながり	絆	子どもと先生とのつながり	6		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	人と人がつながる(小学生と中学生、大人と子ども)	人を育てるつながり	人と人がつながる(小学生と中学生、大人と子ども)	7		
4 地域の未来を担う子どもを育てる学校	(1) コミュニティ・スクールの推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	学校内に習い事教室がある(テナント)	交流	学校内に習い事教室がある(テナント)	7		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	習い事ができる場	施設(グラウンド系)	習い事ができる場	4C		
5 働きやすい学校	(1) コミュニティ・スクールの推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	放課後も遊びに来れる学校	建物・生活の場	放課後も遊びに来れる学校	5C		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	地域が広いので子供達だけで放課後も学校へ行ける手段	交通	地域が広いので子供達だけで放課後も学校へ行ける手段	5		
子どもが安全に学校に通うために	(1) コミュニティ・スクールの推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	教職員が働きやすい学校	働きやすい学校施設など	教職員が働きやすい学校	4		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	大きな学校管理はできるのか?	疑問・問題点	大きな学校管理はできるのか?	5C		
4 地域の未来を担う子どもを育てる学校	(1) コミュニティ・スクールの推進	①少人数指導	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	職員の充実	人間関係	職員の充実	5		
	(2) 防犯対策	②個を生かす教育の充実	多様な体験	多様な体験	特色ある学校	職員の充実	人間関係	職員の充実	5		

基本構想

基本計画

資料

【相良地域】施設への検討意見と整備方針案

第1回検討会 相良地域 「新しい学校にあってほしいもの・使い方」 意見まとめ
 第3回検討会 相良地域 「施設の使い方・学校のコンセプト」 意見まとめ

*グループで「C」がつくものは
 第3回目検討会での意見

施設 基本方針	学校再編計画	具体策	整備方針(案)	意見の分類		相良地域の意見	
				大分類	中分類	意見	グループ分類
1 すべての子どもが主役の学校		・採光や通風に配慮 ・コミュニケーションやフレキシブルのための空間	方針1) すべての子どもが快適で健やかに生活できる環境	快適な学校	明るい学校	自然光多め 明るい学校生活 明るい空間 木や自然素材や、やわらかい色を使ってとにかく明るい 広い空間のある学校 広く開かれたゆとりのある校舎(学び舎) 廊下が広く取ってほしい。ただ、水回りは収納型で対応	7C 7 4C 5C 7 5 1C 4C 5C 4C 5 5C 4C 4C 5C 4C 1C
					自然が体験できる空間がある	自然が体験できる空間がある 自然が体験できる空間を取り入れてほしい 自然を体験できるコース 木と緑がたくさん 自然がバランスよく配置されている学校 ※農園、庭 自然は沢山あった方がよい 自然にかまれた学校、中心に自然がある学校 緑で囲まれている空間が欲しい。緑の森 まんなかに森があって、そこをとりにかこむ校舎(小さな建物) シンボルツリー 建屋内に大きな木(シンボルツリー) 学校の中にピオトープを作って教育に役立てる 畑(作物、草花など) 野菜づくりができる 菜園 農園・花壇がある 茶畑 田 花壇 生物とふれあえる空間 ほっとできる 海が見える場所がある	温かみ・季節感 校舎 校舎 校舎 校舎 校舎 建物・生活の場 校舎 温かみ・季節感 自然 温かみ・季節感 施設(グラウンド系) 自然教育 設備 自然・生き物 温かみ・季節感 温かみ・季節感 自然 温かみ・季節感 温かみ・季節感 自然 温かみ・季節感 温かみ・季節感 自然 自然教育 自然・生き物 温かみ・季節感 体験学習 体験学習 日本でこしかない、子どもたちも先生もよそから人が来る 自然教育 日本でこしかない、子どもたちも先生もよそから人が来る 体験学習 自然・生き物 温かみ・季節感 - -
子どもの居場所となる快適で温かみがある生活空間				リフレッシュ・コミュニケーションの場の整備		自然が見える場所がある	7

施設 基本方針		学校再編計画		整備方針（案）		意見の分類		相良地域の意見		グループ	
施設 基本方針		具体策		整備方針（案）		中分類		意見		グループ分類	
柔軟で創造的な学習空間	(4) 小中一貫教育に対応した環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫した教育課程に対応した施設環境 ・学年段階の区切りに対応した空間構成や施設機能 ・異学年交流スペースの充実 ・9年間の系統性・連続性のある教育活動を効果的に実施できる環境 ・施設一体型校舎の特性、教育効果を考慮 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 9年間の学びや交流を促進できる環境 ・体育館やグラウンドなどの運動施設は体格差のある子どもたちも安全で活動できる ・教室は学年段階の区切りに応じ適切な配置がされるなど、9学年それぞれの特徴に応じた施設 ・児童生徒の交流スペースの充実により異学年交流がしやすいなど、9学年が同じ校舎で学ぶメリットを最大限に活かせる施設 	大分類 体育館・武道場の充実	中分類 二つの体育館 体育館に空調 武道場の充実	意見 体育館は、小中別に2つほしい 体育館2棟（大小） 体育館やグラウンドなど大小いろいろつか 体育館は2つ 体育館にも空調設備 剣道場は剣道場だけで作ってほしい 相良、榛原は剣道がさかんに行われてきたので武道場は必要、剣道場は必ずほしい 柔道場が欲しい。武道場に畳が欲しい 芝生グラウンド グラウンドは芝生 芝生のグラウンド グラウンドは人工芝でラインが書いてある！ 芝生のサッカーコート、グラウンド使って！ 芝生のウッドデッキ、芝生（全面）で排水施設、照明施設等が完備され、芝生（全面）で持続可能なグラウンド 使いやすい、持続可能なグラウンド 傾斜のある側溝 雑草が生えないグラウンドと法面 水はけのよいグラウンド!! バスケットコート面くらい野球場グラウンド、照明付き 陸上グラウンド アスレチックみたいなジム アスレチックができてほしい 雨の日でも外で運動できるスペース（体育もできる） 屋内プール 室内プール プールは温水で室内にして欲しい プールは0m、出来れば温水、冬でも使おう 流れるプールがあるといい。サーフィンプール 小1から中3までが使えるプール ①深さが違う ②柵で区切られている	グループ分類 施設 施設 使いやすい 施設（グラウンド系） 運動施設 施設（グラウンド系） 運動施設 施設 日本でこしかない、子どもたちも先生もよそから人が来る 施設 運動施設 持続可能なグラウンド 持続可能なグラウンド 持続可能なグラウンド 持続可能なグラウンド 使いやすい 施設（グラウンド系） 施設（グラウンド系） 自然 運動施設 運動施設 プール 施設（グラウンド系） 施設（グラウンド系） プール 施設 安心・安全	グループ IC IC 4C 5C 2C 5C 2C IC 7 IC 2C 3C 5C 3C 3C 3C 4C 5C 5C IC 2C 2C 3C 5C 5C 3C IC 4 IC 4 2C 2C 7 7 6 6 2C IC 2C 4			
									3 安全・安心な学校	方針3）安全・安心な学校 <ul style="list-style-type: none"> ■ 安心して通える安全な学校 ・教職員が目が行き届く死角の無い施設計画、構造、非構造部材・工作物等の安全性、防火機能の確保 ・安全な登下校や送迎ができて、使いやすいバスロータリーや駐車場を整備する ■ 災害時の防災機能が充実した学校 十分な耐震・耐火性能、洪水対策など防災機能を高め、災害時には避難所として対応可能な施設整備 	安全な立地 災害に強い学校 安全な施設 安全な学校 安全な学校

施設 基本方針	学校再編計画	整備方針（案）	意見の分類		相良地域の意見	グループ
			大分類	中分類		
安全 安心な教育環境	施設 基本方針 (2) 長期的に管理し易い施設 (3) 通学環境の整備 (4) 脱炭素社会の実現を目指した学校施設整備	方針4) 長期的に維持管理しやすく、景観と環境に配慮した施設 ■長期的に維持管理しやすい施設 耐久性やメンテナンス性が高く、ライフサイクルコストを抑えながら長期にわたり維持管理ができて、多用途への転換が可能 ■脱炭素社会の実現を目指した施設 省エネルギー・再生可能エネルギーの導入などによるエネルギーの調和した施設 ■景観・周囲の景観や地域の特性に適した施設外観や外構計画	管理機能の強化・充実	意見	管理	3C
			管理機能の強化・充実	意見	管理	3C
			管理機能の強化・充実	意見	管理	3C
			管理機能の強化・充実	意見	職員室	3C
			安全なバスロタリー	意見	機能性の高い駐車場	2C
			安全に送迎できる敷地内車路・駐車場	意見	安全安心のための施設	2C
				意見	機能性の高い駐車場	2C
4 地域の未来を担う子どもを育てる学校		地域と学校が共に子どもを育てる環境 コミュニティ・スクールを核に、地域の人が活発に情報交換やコミュニケーションを取り交わることができる学校 ■地域の交流の拠点となる施設 ・施設の複合化・多機能化により、地域が利用できる機能を持つ ・児童生徒の使い易さや安全性を第一に、開放エリアや動線を工夫し、地域も活用し易い規模や機能とする	大学・企業が活用できる 地域ボランティアが利用できる 地域に開かれた学校 プールの地域開放	企業・大学 企業・大学 交流 地域 建物・生活の場 地域とのつながり 地域とのつながり 地域とのつながり 地域とのつながり 地域とのつながり ホットできる空間 交流 日本でこしかかない、子どもたちも先生もよそから人が来る 校舎 地域とのつながり 施設 どこでも図書館 日本でこしかかない、子どもたちも先生もよそから人が来る プール 施設（グラウンド系） プール プール プール	5 5 4C 3C 5 4 4 2C 2C 3C 4C 4C 7 5C 2C 1C 3C 7 3C 5C 3C 3C 3C	
地域や社会との共創空間		地域と学校が共に子どもを育てる環境 コミュニティ・スクールを核に、地域の人が活発に情報交換やコミュニケーションを取り交わることができる学校 ■地域の交流の拠点となる施設 ・施設の複合化・多機能化により、地域が利用できる機能を持つ ・児童生徒の使い易さや安全性を第一に、開放エリアや動線を工夫し、地域も活用し易い規模や機能とする	大学・企業が活用できる 地域ボランティアが利用できる 地域に開かれた学校 プールの地域開放	企業・大学 企業・大学 交流 地域 建物・生活の場 地域とのつながり 地域とのつながり 地域とのつながり 地域とのつながり ホットできる空間 交流 日本でこしかかない、子どもたちも先生もよそから人が来る 校舎 地域とのつながり 施設 どこでも図書館 日本でこしかかない、子どもたちも先生もよそから人が来る プール 施設（グラウンド系） プール プール プール	5 5 4C 3C 5 4 4 2C 2C 3C 4C 4C 7 5C 2C 1C 3C 7 3C 5C 3C 3C 3C	

施設 基本方針		学校再編計画		整備方針（案）		意見の分類		相良地域の意見		グループ分類			
		具体策				大分類		中分類		意見			
地域や社会との共創空間		<p>地域と学校が共に子どもを育てるCSのためのスペース） ・多様な人材が作業できるスペース ・情報交換やコミュニケーションができるスペース機能拡充による高機能化・多機能化 ・事故発生防止や防犯機能の確保 ・開放するエリアの明確な区分</p>		<p>■地域と学校が共に子どもを育てる環境 コミュニティ・スクールの核に、地域の人が活発に情報交換やコミュニケーションを取り交わることができる学校 ■地域の交流の拠点となる施設 ・施設の複合化・多機能化により、地域が利用できる機能有する ・児童生徒の使い易さや安全性を第一に、開放エリアや動線を工夫し、地域も活用し易い環境や機能とする</p>		<p>地域で使える部屋・スペースの整備</p>		<p>映画館作ってほしい 将棋ルーム ストレス発散、カラオケボックス 座禅の間 老人ホームや保育園とも同じスペース 公民館のようなフリースペース ヒオトープのような環境で地域に開放し、公園やジョギングなど出来るような施設 地域の交流のためにグラントゴルフ場が欲しい 10年生（地域の人の部屋）の教室 全自動ホール 椅子が全部一緒に出る ホール（音楽や舞台、講演が起きるところ） 音楽ホール いーらのような音響の整ったホールが欲しい。芸術鑑賞や卒業式、文化祭などに活用。使わない時は地域に貸し出す お茶が無料で飲めるカフェスペース カフェスペースでボランティア、保護者が児童とコミュニケーション お茶カフェ、ほっとでできる空間 カフェ（スタバ）作って 無料でお茶とみかんジュースが飲めるスペース 給食は自作 学校内に給食センターが欲しい 保護者会を行う時は運動場を開放しなくて良いように充分な駐車スペースを確保する 駐車場は多く 洗車機も置いてほしい （各小学校）地頭方小のあと地に児童クラブを作って 放課後子ども連絡が学び、遊べる学校 地域とのつながり</p>		<p>複合施設 ホットでできる空間 ホットでできる空間 ホットでできる空間 交流 交流 自然 施設 地域 ホール 体験 ホール 自然・地域 自然・地域 ホットでできる空間 校舎 校舎 施設 使いやすい 地域とのつながり 複合施設 疑問・問題点 地域とのつながり</p>		<p>5C 3C 3C 3C 4C 4C 1C 1C 3C 3C 4C 3C 5 5 3C 5C 5C 1C 4C 4 5C 5C 5C 2</p>	
5 働きやすく充実した指導ができる学校		<p>・必要広さの執務スペースの確保 ・常時ICTが活用できる環境の整備</p>		<p>方針6) 教職員の充実した指導を支えられる執務空間 ■効率的・効果的な職員室 職員室は内外を目視しやすく、子どもたちとのコミュニケーションが取りやすい配置とし、教職員同士の間接的・直接的な連携や交流が取り易い執務空間とする ■充実した指導ができる環境 教職員のリフレッシュやコミュニケーションの場の整備やICT環境の整備等により、教職員が生き生きと働くことができる環境を整備する</p>		<p>児童生徒が放課後過ごせる場所の整備 児童クラブ 放課後学んだり遊んだりできる学校</p>		<p>子どもたちの学びや育ちを支えられる学校（設備や教職員の人数を含む） 職員室の配置がとてども大切！ どこからも近い、迷路になっていたらイケナイ 大きくても近い</p>		<p>働きやすい学校施設など 職員室 職員室 職員室</p>		<p>4 3C 3C 3C</p>	
効果的に創造的な執務空間		<p>（1）効率的・効果的な執務環境の整備 （2）創造的な執務環境の整備</p>		<p>職員室のオープン化</p>		<p>職員室をオープンにする</p>		<p>校舎</p>		<p>5C</p>			

第4回検討会 相良地域「コンセプト決め」意見まとめ

【(相良地域共通案)】	④ 夢に向かって 伸び伸びと学べる みんなの学校 ⑤ 「ここだけじゃ〜」相良らしい学びと体験ができる みんなの学校
【(相良地域共通案)】	④ 夢に向かって 伸び伸びと学べる みんなの学校 ⑤ 「ここだけじゃ〜」相良らしい学びと体験ができる みんなの学校

意見 グループ	意見メモ	案 No.	模造紙記述内容	模造紙	発表時の説明
1	やりたいことにチャレンジ	①	【初回発表】 わたしアイデンティティ →つながるうとすの意志となる →夢をつくる 建物のコンセプトにふさわしい		<ul style="list-style-type: none"> 自身の考えを主張するのが苦手な子が増え、ChatGPTで感想文や論文、漢文まで作る時代であり、私を作るアイデンティティを確立するのは大切なこと 多様性や個性が尊重されるとあるが、尊重されるべき多様性や個性、私作りが非常に大事 5番の相良ならではの体験、調和されたい景観の中で育ち、その結果郷土愛を育み、里帰りしたいと思える学校になってほしい
	多様性				
	自分のことを自分の言葉で語れる				
	個性 ワタシ				
	わたし 個性				
	学校 = わたしをつくる				
	相良らしさ				
	だもんで				
	主体性				
	のびのび				
アイデンティティ → 夢をつくる					
建物のコンセプトとして					
やわらかな協調					
方言					
主体					
子どもの気持					
自分の意志で校舎施設とつなげていく					
そういう校舎がイメージできる					
主体性					
外からのいいもの 相良に合ったもので					
い〜との共調					
自然との調和 景観					
親しみやすい					
自分 わたし つなげようとする					
求めて 図書館に行く					
②夢につながる④夢に向かって					
②の方が近い					
夢自体を見つめる					
つながる 主体は学校 客体は子ども					
③②夢 ミライ 共通している					
「夢」という言葉 コンセプトとしてふさわしい					
「夢」子どもの夢 地域の夢 親の夢					
伸び伸び学べる					
④	向かって 主体は子ども				
建物のイメージしやすい お茶					
歴史 お城がある					
インパクトはある					
地域の取り組みがわかる					
言葉は変えたい					
①は建物として考えにくい					
③意味が行きすぎている					
最終的には夢を持ちたい=夢につながる					
②	夢 ミライ (※夢がミライを包括)				
シンプル わかりやすい					

【2回目発表】 「わたし」 ：相良ならではの体験・景観 →やわらか(しなやか)な個性 自分のことを自分の言葉で語れる 進学・通学するのは私 自分から行く 共感・自ら向かっていく	
【夢】 ：ミライ・学び・多様性 相良らしさ 全て入っている ・人生の出发点 ・志	

基本構想

基本計画

資料

<p>意見</p>	<p>全てを網羅している 夢は小さくてもいい つながる = 100歳まで ころざしを育てる 伸び伸び学べる 入りたい 夢だとまぶしすぎ？ 夢破れた時でも他の生き方 = ミライ？ 夢実現のための学校ではない。 自分のミライに向けて進んでいくスタートラインにしてほしい。</p>	<p>『ミライにつながる みんなの学校』 夢を見つけない子どもたちも多 い 自分のミライに向かって、力強く歩 んでいくためのスタートラインに なってほしい。 牧之原全体の未来につながる</p>		<p>・どれも良いが2番と3番を合わせたよ うな、「ミライにつながるみんなの学校」 とした ・「作る」という言葉は何か作り上げなきゃ いけない、先生方も指導しなきゃあり けないというような暖さがあり選けた ・「つながる」という言葉は9年間の学 びで完成しない子がいてもいいし、夢 が持てない子がいてもいい。これから の人生に向かって力強く生きていくス タートラインになる学びができれば十 分だと思いい「つながる」とした</p>
<p>2</p>	<p>① ② ③ ④</p>	<p>【初回発表】 ①「つくる」 ～しなればならない？ おおらかに ②④「つながる」 夢に向かって伸び伸びと学べる 伸び伸び 自分流で 自分がしたいように 主体的 伸び伸び</p>		<p>・小学校、中学校で人としての根っこが 土台となっていて最終的に夢につながる っていく ・つながるとい言葉の方が広がりがあ り、2番の方が良い ・4番の「のびのび」という言葉のイメー ジは自由度が高い、個性などにつながっ ていく ・建物のコンセンプトという視点で考える と自由度や個性が生きているのは非 常に大きなコンセンプトになると思い、 2番と4番を選んだ</p>
<p>3</p>	<p>① ② ③ ④</p>	<p>【2回目発表】 大切にしたいことば：夢 夢を実現するために力をつける場所 9年間として根っこ ② コンセンプトとしてわかりやすい ④ 長い？ 地域の中の学校 みんなの学校 地域 みんな育てる 伸び伸びと学び 自由度 個性 設計に生きる その子らしさ 個性をつくる (→夢を実現)</p>		<p>・4番を選んだが、「夢に向かって」とい う言葉がしっくりこない。夢持ってい ない人はだめなのか ・のびのびと学べるという言葉は良い。 コンセンプトなので1～6まで全部同じ ようなことを言っているとと思う</p>
<p>4</p>	<p>② or ④</p>	<p>② or ④</p>	<p>② or ④</p>	<p>② or ④</p>

第4回検討会 相良地域「必要諸室と施設の複合化・多機能化・高機能化（案）」意見のまとめ

区分	室名	意見分類	意見	グループ	
学校全体		多様性への対応	多様性に対応した施設（更衣室・トイレ）	2	
			階段の高さ 小1と中3	2	
		防災	安全	バイパス	1
			太陽光発電時の電力	1	
			備蓄倉庫 総合グラウンド裏道の拡張	1	
普通教室	児童生徒更衣室	更衣室の整備	子どもが使う更衣室ほしい たくさん	2	
特別教室 (特別教室全体)	音楽室	音楽室の地域開放	音楽室（地域開放）	1	
	家庭教室	調理室の地域開放	調理室（地域開放） ABC クッキング 料理教室のような習い事できたらいい	1 3	
	地域開放する		地域開放はどんどん進めるべき	2	
			女性が入ってきやすい地域にしたい＝女性が使いやすい施設に	2	
			会合	1	
			まきのはら塾	1	
			昔の学校 思い出コーナー それぞれの地域の伝統がわかるようにしておきたい	3	
			バス巡回	1	
			授業 学校支援は OK ボランティア団体 子供とかかわる活動も OK 日中：要検討 土日：OK 子どもいない時にくる →地域独自の活動 他の場所	4	
			地域活動 使っていない時は地域利用できる 子どもがいる時にくる →シンプルな貸出しルールづくり	4	
			ダンスホール →今後やる人多くなる	3	
			「事前予約」必ず必要 調理・音楽・楽器の練習 使いたい人いる	3	
	開放に伴う安全面への課題		防犯上の問題	2	
			顔認証 マイナンバーカード	3	
			利用登録制は必要だと思う	3	
			セキュリティは大事 入館証・顔認証	3	
			スポ少会場 けっこういろんな人が入ってくる。地域の人と判別できない	3	
			多機能化→安全 警備会社 入口チェック 日常的出入× いつ誰が来る 管理が難しい →管理者はだれ？先生は教育に集中 / 管理学校むずかしい 9か年の子の安全 誰も経験していない →少しずつ ボランティア+地域の人 △ 仕事として ○ AI 万全じゃない	4	
	多目的・地域交流	図書館の充実	小中一緒になる。蔵書は増える 小学生が中学生向けの本も読めるようになる	3	
			地小) 古い本が多い。人気の本が決まっている。一年間、手に取られない本も多い	3	
今の学校の図書室 いつも開いていない			3		
学校図書室の蔵書 子供は満足してる？→してない			3		
何か所もあったほうがいい 行こうとしたら閉まっていた			2		
いこっとが無くなったら？→学校図書館を一般も使えるようにしておかないと			3		
地域開放する		利用料とる 管理人をつける それができれば地域開放できる	3		
		「みんなの学校」なんだから 開放できるのはしたほうがいい	3		
		いこっと の使用率による	1		
地域開放への課題など		警備の問題	1		
		学校 いこっと どちらが充実？すみわけ	2		
		日中のニーズ？ママ（子育て）+αの魅力	4		
		バス通学 自分たちだけで図書館行く？親が送っていくのが多い	3		
地域開放の必要性への疑問		いこっと の充実 学校図書と一般向け	1		
		いこっともある 学生が使う	1		
		地頭方としては使うことはないかも	1		
		図書館ができたばかり。学校に（地域公開が）必要？	2		
		一般 公共図書館との共存 本は増える 中高生の自習室となってしまう？→個別にほしい？ 駐輪場も必要	3		
	いこっと 海 学校 山 2つほしい？	4			
	いこっと 人材があるか しぼる	4			
	いこっと 魅力的 しぼる	4			
地域開放・複合化		カラオケ大会 ホール	1		
		茶工場 お茶の機械	2		
		お城 史料館	2		
		子育て支援センター	2		
		保育園に通えない子が来れる場所	2		

基本構想

基本計画

資料

区分	室内	意見分類	意見	グループ
多目的・地域交流		地域開放・複合化	小さい子が遊べる場所 ←グラウンドの開放	2
			公民館等 階段でつなげて配置	2
			公民館を中心に 調理室など	2
			カフェ 緑茶 ←地元の産業に接する	2
管理諸室		給食センター	給食センターを併設	1
屋外施設	プール	温水に	プール 温水	1
		屋内プールを	屋外プール ゴミ・コケ・虫 多くて大変	3
		地域開放	子ども「ぶるる 行きたい」→近くにあったら嬉しい 使いたい人いる。屋内・温水がいい	3
	児童クラブ室	併設	学校 各地域まちがいでなく帰す 安全	4
			同じ敷地内まとめて	4
		放課後活動	子どもに学校でクラブ活動（3部制）	2

第5回検討会 相良地域 「学校敷地と施設配置(案)」「エリア分けと動線(案)」 意見まとめ

意見分類		意見	
棟配置		教室とグラウンドの距離が遠い。体育館が遠い	
		し型配置より、ロ型配置が良い	
		特別教室、理科や外国語など移動距離低学年は大丈夫?	
		棟をわけると迷路みたいになる可能性	
		子どもが使う教室は一棟に収めるのが良いのではないかとまとめて一棟に	
教室	特別支援教室	特別支援教室はじっこではなく真ん中という考え方もある	
	海が見える	教室は海が見えて一番よいところに	
	外国人支援教室	職員室からグラウンドが見えないといけないのか?	
	職員研修室	研修室(教職員のための)管理エリアにほしい	
	階段教室	階段教室もあつたらいい。発表にも使える	
心の相談室		心の相談室、相談室(カウンセラー常駐)、適応指導教室、フリースクール的な場所、学校に来ることが大事 心の相談室、入口が別にあると安心して通える子も増えるのでは(+駐車場)	
保健室	グラウンド近くに配置	保健室はグラウンドに近いほうが良い	
体育館		体育館は3階で 武道場がない? 体育館の劇などやる車両導入を考えて	
グラウンド	小中分離など	グラウンド一面で良いのか?カリキュラムが組めない 小さい子は校舎の近くに小グラウンドが必要	
	広さ・競技	グラウンド、部活のことを考えると手狭ではないか。サッカー、野球一緒にできる? グラウンド200mトラック、狭くないか。400mトラックにしたい グラウンド狭くないか?夜間照明はある? グラウンドは400mトラックがほしい。できれば人工芝(駐車スペースにもなる) グラウンド200mより400m欲しい(中学校では200は狭い)	
	暑さ対策	グラウンドは山のスノに有り。暑さ(※対策?)は良いか?	
	その他	グラウンドは人工芝がいい。雨に関係なく行事ができる 切った法面を階段上にしてグラウンドを見れる観覧席にして	
			プール。土地開放を考えているのであれば地域開放エリアに近い方が良いと思う 体育館は2階建て。プールの大きさは大丈夫か? プールは山側にあると葉が入り管理が大変 プール温水?屋根付き?
プール	配置		
	屋根・日よけ	プール屋根ほしい。ソーラーパネルとかもいいかも。プール掃除大変だった記憶。BGみたいな	
	屋内プール	地域開放スペースの地下などに室内プール	
遊具・広場		斜面を使ったアスレチックを。ボルダリングとか 子どもの楽しむ場所がない 子どもの遊び場がない(低学年用) 全天候型エリアでいつでも子どもが遊べる場所がほしい 昼休み、放課後遊べる場所がほしい	
植栽・畑		緑がない。欲しい 農業体験ができる場所がない 農業体験やアスランチができる畑を確保したい	
部室		部室棟の位置。部室必要になる	
児童クラブ		平屋建てがいい。児童クラブの日中の活用は、支援センター的な運用。児童館のように支援センター親子でいかないと。一時預かりとかできたらいい(機能として、予約制で)	
テニスコート		テニスコートは校舎やグラウンド付近へ テニスコートは相良総合グラウンドがあるため不要ではないか	
ロータリー		ロータリーから教室まで屋根がほしい。雨のとき困る バス停、乗降口を地区ごとに作って小さな子が迷わないように	
駐輪場・駐車場		駐車場は一番奥(車は便利ではよい) 駐車スペースを細長く南側にすれば、地域開放やグラウンドへも行きやすい	
	駐輪場	屋根付きの駐輪場 駐輪場がない(2か所ほしい、出入口付近) 体育館の1階を駐輪場(現相中タイプ) 体育館の下、相中みたいに駐輪場にしてはどうか 進入路は両側歩道で自転車も通れるように。車も	
管理・防犯		みんなの学校といっても防犯上のリスクは考えないといけない。あくまでも子どもの学習の場	
車両動線		給食センター、救急車、グラウンド管理、車両動線を	
敷地		敷地を最大まで広げることではできないか。進入路つくらなくて良い	
	一段にしたい	土地はフラットで一面成形が良い 残土処理と関係するが一段の平場ですべてまかないたい 一段が良い(日陰になる、湿気がある) 全体で傾斜をつけて一段とする	
	グラウンド校舎同レベル	グラウンドと校舎は同じ高さにしてほしい	
敷地周辺動線		来客が普通教室エリアを横切って校舎へ入るのは安全管理上問題ないか? 総合グラウンドからの道がほしい 総合グラウンドへ行ける道がほしい 管山地域の人が通行する道が狭い	

意見分類	意見
その他	バス運転手確保できるか
	先生もスクールバスで通勤してはどう？防犯上も良い
	親（ママ）が通わせなくなる学校にして
	防風ネット、西風への対策をすべき
	学校で使う電気をソーラーパネル、風力発電でまかなえるように
	バイパスに近く、音の問題はないか
	西日対策をしっかりとってほしい
	車の騒音問題が心配

第6回検討会 相良地域 「地域開放と防犯について」 意見まとめ

グループ	模造紙記述内容	意見
1	防災を最優先。最悪のケースを考える（子どもの死）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域開放と防犯なら、学校なので防犯に重きを置く ・安心して子どもたちが学ぶためには、他の人が入って来られないフェンスが必要 ・地域開放に関して、体育をやっている横でサラリーマンがお弁当を食べているような学校はやめたい ・子どもの学習時間を確保し、地域の方と交流するときは開放する。一緒に放課後学習ができるかもしれない ・夜は牧之原市で活用したり、鍵を閉めて防犯対策をしたりしていきたい
	学校は子どもが学ぶ所。入れなくするのがあたりまえ	
	門は必要。フェンスで囲む。夜の防犯	
	防犯、防災は最悪のケースを考える必要がある。最悪のケースとは、子どもの命が奪われることである。それを第一に考えないといけない	
	①地域開放と②防犯。A案：①②どちらかに重きをおくか。B案：①②両方ほぼ均等に重きをおくか。私の案：②に重きをおくことが重要と考える	
	ドラマと現実とは違います。勘違いしないように	
	一般開放とルールづくづく（づくりの書き間違えと思われる）は違いますよ	
	事件から子どもを守るのが一番。開放するのは放課後以降 1. 児童生徒、2. 放課後学習活動、3. まきのはら塾	
	時間帯を分ける	
	地域開放をどう押さえるかである。これをしっかり押さえないと、義務教育学校としての機能の確保はむずかしい そもそも地域開放の考えを重視すると、学校の機能、役割を果たすことが難しくなる	
2	バイパス近い、交通量増える位置にできる学校のため、どこのだれかわからない人が入ってくる可能性が高まるのでは	<ul style="list-style-type: none"> ・全て囲ったりオープンにしたり極端なものでなく、ある程度中が見えて子どもたちの様子がわかるようにしたい ・バイパスが近く交通量が多いため、防犯について意識を高めていかなければならない ・防犯カメラをいくつも付ければよいというわけではなく、規制をクリアしなければならない ・管理する側は、施設を開放した際に、誰が壊したかを把握し管理しなければならない。なにもかも学校施設を開放するわけにはいかないと思う
	管理する側からすると、クローズドにした方が安心。物が壊れている際、だれがやったかがわからない	
	だれでも自由には入れるのは防犯面で心配	
	場所的に住宅地から離れているので、大人の目が行き届かない気がする	
	壁ではなく木を植えて区切るくらいで良いのでは	
	完全なクローズド、オープンではなく今のような中間のような状況が良いのでは	
	クローズドにしすぎると地域との繋がりが薄れてさみしい感じもする 学校管理者の立場からするとクローズドの方が安心できる グラウンドで子どもが授業をやっている横で関係ない人が食事しているというのはいかがかと思う	
3	地域に開放されれば地域の人が見守ってくれる	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路はバイパスの下など、歩行者の道が狭くあまり利用されておらず危険。バス道を広くして歩行者も通れるようにして安全に通学できるほうが良い ・監視カメラを置いてほしい ・プールが1年間でほとんど使われないなら、室内にして一般の方も利用できるような有効活用ほしい。一般の方にも開放することで、不審者が来ないようにするのは
	地域の方が交流で入ってくれば人が監視する	
	監視カメラが必要（AIで判断）	
	周辺にフェンスで囲う必要ない（周辺の山がBP）	
	駐車場が前面にあった方が不審者が入りにくい	
	プールを一般開放してもらいたい 年間利用したい	
4	メインの道路をバス、車だけでなく歩行者、自転車も通行できる広い道路へ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域開放と防犯は相反する。学校は100対0ではないと思う。安心・安全・安定があり、まずは安全確保が必要 ・子どもの姿が見える、子どもから外が見えるという見える化は大切 ・地域開放はいつでも地域の方が入れる出入口を整備して人を配置するなど、ICTも大切だが人の目も大切
	防犯面からも歩行者、自転車の入口（サブ入り口）が必要なのか？	
	BPの下側道で照明もないため危ない（危険）	
	牧之原市民が善と考えると、開放的な小学校がよいと考える。防犯対策は開放後でもできる	
	全面閉鎖の柵をつくると、開放的にすることにより多くの費用がかかる	
	緑のフェンス（自然的な要素）風や空気を常に感じる	
	オープンすぎるのも防犯面での管理が難しそうではありますが、閉鎖的にするとみんなの学校ではなくなる	
	囲いがないとイノシシ等が入ってくる	
	子どもの姿がよく見える金網で囲えばよい。コスト的にも安価だと思う	
	壁で囲うのはちょっといや 植栽で囲うのは管理が大変 「入りやすさ」（地域開放に関わる）は車両侵入に関わるものでそこを十分に確保したい 一般の人が利用できる時間を場所によって決める 常時数人の人が校庭の管理をしながら学校に来る大人をチェックしながら防犯する 地域開放は重要なコンセプトであるが確かな管理ができる出入口に人付けをして運営したい 学校の基本ベース（考え方）として安心・安全・安定があると思います。したがってまず安全を確保すればと思います	

第6回検討会 相良地域 「基本構想・基本計画について」 意見まとめ

グループ	分類	意見	
		模造紙記述内容	発表時の説明（要約）
1	質問	地域は企業も含める？対象を限定？	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプト解説の「人生の出発点」という言葉に違和感 ・職員のトイレにお金をかけてほしい ・カタカナ表記の「ワタシ」に違和感があり回答してほしい ・3クラス9学年で、小プールを利用するのは6クラス、残り21クラスは大プールを使う。10時間ほど水泳授業があるためどのようにやっていくのかを聞きたい ・相良らしいとはなにか ・コンセプト解説の、教職員・地域・保護者以外にもいるため考えていきたい
		相良らしいとは？相良地区、榛原地区と地区を限らなくても良いのでは。牧之原らしいが良い？	
		ワタシは違和感あり。「わたし」PI3	
		プール1つで水泳の授業がまかなえるのか	
	温水プールにならないか		
意見	お願い。職員のトイレはお金をかけてほしい		
	地域の方の利用もある		
	人生の出発点。言葉に違和感		
	資料を見てみんなの意見を取り入れたものになっています 夢をすい上げて現実、予算面で叩き潰さないでくださいよ		
2	質問	スポ少で体育館を使うとき、大・小体育館どちらも使えるか。小体育館だけか	<ul style="list-style-type: none"> ・大プールの深さは中学生低学年、高学年の身長を考慮しているのか。プール全体で対応するのか、台を使うのか不明 ・プールの位置について、デッドスペースが生まれ、邪魔になる恐れがある ・防災倉庫について、体育館の中又は敷地内と記載があったが、災害時は疲弊した状況のため、物品移動はできれば体育館の中の方が移動がしやすくてよい ・スポーツ少年団のミニバスケボールは2面できるのか ・武道館の畳は普段から出しておくのか、利用するときだけ畳をだすのか ・体育館の床をクッションフロアで決定しているのか。フローリングとクッションフロアにそれぞれ良し悪しがあると思う。耐震補強工事をしたときクッションフロアではなくフローリングにしてきた経緯があるため考慮が必要
		武道場の畳は普段は出してあって必要な時に収納するのか？その逆か？（畳を使う授業と使わない授業のどっちが多いかによると思うか）	
		体育館の床材のクッションフロアは決定か。使っている際の感覚や手入れ的に不評の声も聞か	
		可動域の壁に防音効果がどの程度あるか心配	
		防災倉庫を設置する場所は体育館の中の方が利用しやすい。近隣よりも	
	意見	武道場の畳は避難所として使う場合有力に使えるのでとても良いと思う	
		スポ少で体育館を使う際小体育館だけではできない	
		大プールと小プールの2つを作るとのことだが、大プールを使う子どもでも低学年、高学年の差があり深すぎる、浅すぎるの不便がでないようにしてほしい	
		プールの位置がその横（奥）にデッドスペースがどうしても出来てしまう。できれば建物の中にあれば敷地を有効に使い、枯れ葉等のゴミが入らないのでメリットたくさんあると思う	
3	質問	地域らしさを表現できる仕様とは？	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に行きたくなくなる、新しい教育体制ではオープンスペースは意義がある。将来職業の6割くらいAIで無くなるということを知っている。なぜ大人は夢が持てるのかと言う子どももいる。夢を持たせるためにオープンスペースを利用し、自立した発想を促す ・会議や地域の行事に学校のスペースを貸す場合、料金の設定など検討が必要 ・子どもたちから学校への要望を聞くと、2階から滑り台を作り、常時使えると楽しく学校に来られるという意見も
		地域開放の場合有料？誰がコントロールするのか？	
		学校の会議室の開放は？	
	意見	オープンスペースは様々な学びができるので良い	
		無駄だと思えるような施設が子どもたちにとっては大事。将来につながるものかも	
		子どもたちがコミュニケーションをとりやすく楽しい施設が魅力ある	
		子どもたちから聞いて要望を一つでも取り入れてほしい	
		子どもたちが自ら工作したりさわったりする施設も	
		子どもたちが考えたものを取り入れてほしい（滑り台なら）	
		子どもと一緒に親も教育していかないと	
		魅力ある施設というのは難しい	
		ワタシをつくる→子どもたちが遊べて仲間をつくる	
		鉄骨造でも木製壁を使用してほしい	
農園だけでなく様々なものを取り入れてほしい（ビオトープ、ホテル鑑賞）			
先生たちが学んだり経験したりする場もほしい			
4	質問	鉄骨造と鉄筋コンクリートの違い、利用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄骨と鉄筋についての違いを説明してもらい納得した ・整備方針として「わたしをつくる」というのは学校の一番重要なコンセプト ・7～9年生もスクールバスを基本にしてほしい ・相良地域のコンセプトがとてもよい。開校は10年後くらいになると思うが、開放してからだけではなく、今から繋がっていくことをコンセプトの考え方に入れてほしい。今の子どもたち、今の職員、今の学校を大切にしてほしい
		相良地域のコンセプト「夢につながるみんなの学校」はとてもいいと思います。開校がR15としても今の子ども、今の職員の夢もつながるように準備期間中も現在の学校を大切にしてほしい	
	意見	7～9年生もスクールバスを基本にしてほしい	
		通学路が現状狭くて危ない（萩間）	
		自転車を選択制に	
		自転車の通学路を早めに整備してほしい	
		小中の先生の考え方の違いを早めにすり合わせてほしい（先生のギャップをなくす）	

第7回検討会 相良地域 「学校施設整備基本構想・基本計画（素案）について」 意見まとめ

	意見
基本構想	P4、P11 キャリア教育→起郷家教育
	牧之原市ならではの表現の方が
	P7 青年期を全部削除
	10代で青年期
	P13 教育の主体は教員。学習の主体は子ども。教職員は多様な人の下にあるのはおかしい
	教員の位置全体的にどうかもっと上では。教員特出し
	安全・安心。安心・安全。どっち？
	種まく。ホップステップジャンプ。→スタートラインあってもいい
	義務教育のスタートライン。人生かは違和感
	ワタシをつくるスタートライン
	人生は思い。色々な場面でスタートラインはある
	個人の解釈
	地域のひとづくり
	今から学校が始まる意識づけできる（保護者や地域。）
・志。・こころざし	
基本計画 I	P22 イ（カ）大きさの異なるグラウンド。配置図の反映は？
	P21 障害の状態。子供の状態や特性。数の変動。
	P21 障害に違和感
基本計画 II	・普通教室に違和感
	・P33 防災倉庫。市民だけでない
	・収納大事。廊下。教室
	・体育館のイス。自動で出し入れできる
	・電話回線普通教室に配備
	・渋滞回避
	・山からの水は大丈夫か
	・Gの面積。トラックの大きさ
	・虫の大発生の可能性。対策
基本計画 III	・P40 門扉の表現があった方が安心
	・歩車分離。複数の進入路
	・P12 再編計画の文言が分かりにくい
	・緊急の対応時の渋滞。周辺の渋滞対策→運用で
	・P10 距離の再考

*章分けとページは素案段階のもの

牧之原市新しい学校づくり検討会開催状況

【榛原地域】

会議	日時	内容
第1回 ※相良地域と同時開催	令和4年 10月21日(金) 13:30～16:30	<ul style="list-style-type: none"> 再編計画の内容と検討会の進め方 新しい学校の事例紹介 意見交換(新しい学校で大切にしたいこと)
視察 ※相良地域と同時開催	令和4年 11月22日(火) 8:40～18:00	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県瀬戸市立にじの丘学園視察 1～9年生が共に学んでいる先進的な学校施設を見学
第2回	令和4年 12月22日(木) 13:00～14:30	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供(候補地、通学について) 意見交換(対象学年と距離、スクールバスと路線バス、有償・無償、その他通学について)
第3回	令和5年 2月9日(木) 13:00～14:30	施設の使い方・学校のコンセプト <ul style="list-style-type: none"> 情報提供(先進地視察の報告) 意見交換(①施設の使い方 ②コンセプトを考える)
第4回	令和5年 5月10日(水) 13:30～16:30	<ul style="list-style-type: none"> 学校のコンセプトと整備方針(案) 必要諸室と施設の複合化・多機能化・高機能化(案)
第5回	令和5年 7月14日(金) 13:30～16:00	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設と施設配置(案) エリア分けと動線(案)
第6回	令和5年 9月26日(火) 13:30～16:00	<ul style="list-style-type: none"> 地域開放と防犯について 基本構想・基本計画(たたき台)について
第7回	令和5年 10月26日(木) 13:30～16:00	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想・基本計画(素案)について

【榛原地域】 検討会意見から コンセントへのキーワード

第1回検討会 榛原地域 「あなたが新しい学校で大切にしたいこと」 意見まとめ
 第3回検討会 榛原地域 「施設の使い方・学校のコンセプト」 意見まとめ

*グループで「C」がつくものは
 第3回目検討会での意見

学校再編計画 基本方針		学校再編計画 方策		意見の分類		意見		(検討会) 榛原地域の意見		グループ分類		グループ	
大分類	中分類	大分類	中分類	大分類	中分類	大分類	中分類	大分類	中分類	大分類	中分類	大分類	中分類
1 すべての子どもが主役の学校	(1) 学びのサポート体制	①学習支援サポーターの配置	コンセントへのキーワード	楽しい 行きたくない 多様性 個性 主体性 交流・人との関わり	学校が楽しい	学校→楽しい 子どもが行きたくなる学校	意見	いちばん大切にしたいこと	グループ	3	3	3	3
		②学校図書館司書の配置											
みんなが楽しく学び生活するために	(2) 心のサポート体制	①スクールカウンセラーの連携強化	コンセントへのキーワード	楽しい 行きたくない 多様性 個性 主体性 交流・人との関わり	いじめ対策	いじめ対策をしっかりしてくれる体制	意見	教育内容	グループ	2	2	2	2
		②SSWとの連携強化											
次代を切り拓く力を育むために	(3) インクルーシブ教育の充実	①多様性への対応	コンセントへのキーワード	楽しい 行きたくない 多様性 個性 主体性 交流・人との関わり	心のサポート	孤独しない。誰かが助けてくれる	意見	福祉・医療	グループ	5C	5C	5C	5C
		②特別支援教育の充実											
次代を切り拓く力を育むために	(4) 小中一貫教育の推進	③外国人児童生徒等への支援	コンセントへのキーワード	楽しい 行きたくない 多様性 個性 主体性 交流・人との関わり	多様性を大切に にする	子どものやりたい事や個性を伸ばせるようにしたい	意見	核！ 校内環境	グループ	1	1	1	1
		④成長過程に応じた節目の設定											
次代を切り拓く力を育むために	(1) キャリア教育の推進	②9学年を生かした行事の設定	コンセントへのキーワード	楽しい 行きたくない 多様性 個性 主体性 交流・人との関わり	異学年交流	中学生、小学生の合同演奏会、合同合唱会の開催	意見	伝統 特色ある行事！	グループ	3	3	3	3
		③学校独自のカリキュラムづくり											
次代を切り拓く力の育成	(2) ICTを活用した学び	①授業や教育活動における力の習得	コンセントへのキーワード	楽しい 行きたくない 多様性 個性 主体性 交流・人との関わり	ICT教育	リアルとオンラインのハイブリット	意見	核！ 校内環境	グループ	2	2	2	2
		②起郷家教育プログラムの推進											
次代を切り拓く力の育成	(3) 国際理解・外国語教育の推進	①情報活用能力の育成と個別最適な学び	コンセントへのキーワード	楽しい 行きたくない 多様性 個性 主体性 交流・人との関わり	グローバルな学び	英語、外国語	意見	グローバルな人材育成	グループ	1	1	1	1
		②遠隔・オンラインの活用											
次代を切り拓く力の育成	(3) 国際理解・外国語教育の推進	③ ICT 支援員の配置	コンセントへのキーワード	楽しい 行きたくない 多様性 個性 主体性 交流・人との関わり	グローバルな学び	英語、外国語	意見	グローバルな人材育成	グループ	2	2	2	2
		①異文化に触れる・外国語を話す機会の拡充											
次代を切り拓く力の育成	(3) 国際理解・外国語教育の推進	②ALIT(外国語指導助手)の配置	コンセントへのキーワード	楽しい 行きたくない 多様性 個性 主体性 交流・人との関わり	特色ある学びがある学校	地域愛を育てる	意見	文化・歴史	グループ	3	3	3	3
		①異文化に触れる・外国語を話す機会の拡充											

【様原地域】施設への検討意見と整備方針案

第1回検討会 様原地域 「新しい学校にあったらいいもの・使い方」 意見まとめ
 第3回検討会 様原地域 「施設の使い方・学校のコンセプト」 意見まとめ

*グループで「C」がつくものは
 第3回目検討会での意見

施設 基本方針		学校再編計画		整備方針(案)		意見の分類		様原地域の意見		グループ	
施設	基本方針	具体策	整備方針(案)	大分類	中分類	意見	グループ分類	グループ			
1	すべての子どもが主役の学校		方針1) すべての子どもが快適で健やかに生活できる環境	快適な学校	開放感がある あたたかみ、ぬくもり、木造 中庭	開放感のある室内通路 木造建築(木のぬくもり) 学生広場(中庭)	広さ 安全な施設 共学 リラックス 4C	4C			
	(1) 快適な居住空間の整備	・採光や通風に配慮 ・コミュニケーションやリフレッシュのための空間	■快適性の高い環境 採光・通風に配慮された明るく開放的な空間・木質化等	リフレッシュ・コミュニケーションの整備	緑がある	緑の管理場所 草刈りリンパ(空港にある機械)	創作 創作 施設管理 5C	5C			
	(2) インクルーシブ環境の整備	・ユニバーサルデザイン・バリアフリー ・車イス使用者用トイレ・EVの設置 ・落ち着いて学習できるスペース ・クローダウンできるスペース ・医療ケアに配慮したスペース	■インクルーシブ環境 ユニバーサルデザインや児童生徒のケアのための相談室等の充実	機能の充実		花壇 公園 更衣室 公園 更衣室 に)	リラックス 多様性 リラックス 多様性 5C	2 4C 5C			
	(3) 学びと情報を中心とする学校図書館の充実		■多様な活動や交流を創造する 学校図書館 図書館は誰もが利用しやすい配置とし、多様な活動や異学年交流がしやすい空間をつくる	フロア体制の充実のための部屋	クローダウン室、閉じた空間の整備	人との交流・オープンスペース、一人になれるスペース、何か一つ自慢できるような設備(大きな図書スペース、一人でいられるスペース)	自由・主体性 多様性に対応する空間 多様性に対応する空間 施設・設備 個 個 個 多様性に対応する空間 多様性に対応する空間 3C	3 3 5C 3C 3C 2C 4C 4C 4C 3C 3C			
	(4) 健やかで衛生的な環境の整備	・利用し易い配置・機能の充実 ・学習活動を効果的・効率的に行える空間 ・子どもたちの居場所の一角として捉える	■健やかで衛生的な環境 新しい生活様式への対応・熱中症対策・清潔な衛生環境	リラックスできる部屋がある	ユニバーサルデザイン	カフェのようなリラックスできる一人でも複数でも居られるスペース 障害のある人もない人も ユニバーサルデザイン(障害対応だけでなく ジェンダー対応も) 障がい者に安全なしつらえの充実 何か一つ自慢できるような設備(大きな図書スペース、一人でいられるスペース) 地域図書館を上回る充実した図書室(子供特化型) 吉田図書館なみの図書室	リラックス 多様性 多様性 ハード面 ハード面 学び 学び 施設・設備 施設・設備	4C 5C 5C 3 3 4C 4C 2C 2C			

施設 基本方針		学校再編計画		整備方針（案）		意見の分類		様原地域の意見	
施設 基本方針	具体策	整備方針（案）	大分類	中分類	意見	グループ分類	グループ		
柔軟で創造的な学習空間	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫した教育課程に対応した施設環境 ・学年段階の区切りに対応した空間構成や施設機能 ・異学年交流スペースの充実 ・9年間の系統性・連続性のある教育活動を効果的に実施できる環境 ・施設一体型校舎の特性、教育効果を考慮 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 9年間の学びや交流を促進できる環境 ・体育館やグラウンドなどの運動施設は体格差のある子どもたちが安全でのびのびと活用でき、教室は学年段階の区切りに応じた適切な配置がされるなど、9学年それぞれの特性に応じた施設 ・児童生徒の交流スペースの充実に、実により異学年交流がしやすいなど、9学年が同じ校舎で学ぶメリットを最大限に活かせる施設 	児童生徒の交流スペース	二つの体育館	交流ゾーンを多く広く確保（生徒の）体育館は大小に分けるか1つを間仕切れるようにし冷暖房完備 体育館 大、小 運動場（グラウンド）はスポーツ内容によって分ける グラウンド 全部活対応（安全）、授業（体育）①大②小 ③多目的 多面利用出来るグラウンド（コート）体育館 ※場所に困らない 雨でも利用可能なグラウンド（屋根付き？室内施設？）	共有 安全な施設 施設・設備 安全な施設 施設・設備 広さ 遊び	2C 1C 2C 1C 2C 4C 5C		
(4) 小中一貫教育に対応した環境の整備			9学年での利用に適した、充実した運動施設	グラウンドの充実	雨天利用スペースの確保 遊具の充実 年齢差への配慮 屋根付き温水プール 運動施設は全て小中分けて使える 多様な競技が可能	多目的で安全な駐車場、駐輪場 遊び 遊び 遊び 創作 安全な施設 施設・設備 施設・設備 地域 安全な施設 核！校内環境 遊び 施設・設備	3C 5C 5C 5C 1C 2C 2C 2 1C 1 5C 2C		
3 安全・安心な学校	(1) 安全・安心の確保と防災機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・構造体・非構造部材・工作物等の安全性の確保 ・児童生徒や教職員と地域の人の動線の整理 ・自家発電設備の設置 ・ユニバーサルデザイン化 	安全安心な学校	安全安心な学校	安全安心を第一に 安全・安心 「死角」のない開けた空間 不審者対策（学校内の侵入、関係者との区別） 安全安心、災害に強い 避難所となれる学校 災害時の地域防災拠点としての機能を持つ 防災（避難所）機能を備えた学校 パーソナルスペース、避難する時すれ違う時せまい× 孤立しない、災害時に周りの道が冠水したらどうしようもない、水はけを良くする 防災の拠点となれるような施設にして欲しい	安心安全 大前提 核！校内環境 安心安全 ハード面 地域 地域 地域 広さ 防災 防災	2 1 1 2 3 2C 2C 4C 1C 1C		

基本構想

基本計画

資料

施設 基本方針		学校再編計画		整備方針（案）		意見の分類		意見		様原地域の意見			
施設 基本方針		具体策		整備方針（案）		中分類		意見		グループ分類			
安全・安心な教育環境		<ul style="list-style-type: none"> ・適正な管理ができて易い ・メンテナンスし易い ・変化に柔軟に対応できる施設 		<ul style="list-style-type: none"> ■長期的に維持管理しやすい施設 ■耐久性やメンテナンス性が高く、ライフサイクルコストを抑えながら長期にわたり維持管理ができ、多用途への転換が可能な施設計画 ■脱卒業社会の実現を目指した施設 省エネルギー・再生可能エネルギーの導入などによるエコスクール ■景観に調和した施設 周囲の景観や地域の特性に適した施設外観や外構計画 		<ul style="list-style-type: none"> 使いやすいロータリー 使いやすい駐車場 大きな駐車場 雨でも困らない駐車場 駐車場から入口まで雨に濡れないで入れる通路 駐車場からの導線の工夫 		児童クラブで送迎のスムーズなように ロータリー 広いバスと自家用車がとまれるロータリー 駐車場のスペース安全第一 広い駐車場 大きな駐車場 雨でも困らない駐車場 駐車場から入口まで雨に濡れないで入れる通路 多目的で安全な駐車場、駐輪		4C 4C 3C 1C 4C 4C 4C 3C		グループ	
<ul style="list-style-type: none"> (2) 長期的に管理し易い施設 (3) 通学環境の整備 (4) 脱卒業社会の実現を目指した学校施設整備 		<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー化（高断熱化・高効率照明等） ・再生可能エネルギー（太陽光等）の導入によるエコスクール 		<ul style="list-style-type: none"> ■景観に調和した施設 周囲の景観や地域の特性に適した施設外観や外構計画 		<ul style="list-style-type: none"> 使いやすいロータリー 使いやすい駐車場 大きな駐車場 雨でも困らない駐車場 駐車場から入口まで雨に濡れないで入れる通路 駐車場からの導線の工夫 		児童クラブで送迎のスムーズなように ロータリー 広いバスと自家用車がとまれるロータリー 駐車場のスペース安全第一 広い駐車場 大きな駐車場 雨でも困らない駐車場 駐車場から入口まで雨に濡れないで入れる通路 多目的で安全な駐車場、駐輪		4C 4C 3C 1C 4C 4C 4C 3C		グループ	
4 地域の未来を担う子どもを育てる学校		子どもを育てる学校		<ul style="list-style-type: none"> ■地域と学校が共に子どもを育てる環境 コミュニティ・スクールの核に、地域の人が活用できる情報交換やコミュニケーションを取り交わることができる学校 ■地域の交流の拠点となる施設 ・施設の複合化・多機能化により、地域が利用できる機能を有する ・児童生徒の使い易さや安全性を第一に、開放エリアや動線を工夫し、地域も活用し易い規模や機能とする 		<ul style="list-style-type: none"> 使いやすいロータリー 使いやすい駐車場 大きな駐車場 雨でも困らない駐車場 駐車場から入口まで雨に濡れないで入れる通路 駐車場からの導線の工夫 		児童クラブで送迎のスムーズなように ロータリー 広いバスと自家用車がとまれるロータリー 駐車場のスペース安全第一 広い駐車場 大きな駐車場 雨でも困らない駐車場 駐車場から入口まで雨に濡れないで入れる通路 多目的で安全な駐車場、駐輪		4C 4C 3C 1C 4C 4C 4C 3C		グループ	
<ul style="list-style-type: none"> (1) 活動し易く、コミュニケーションを取り易い空間 (2) 交流の拠点となる施設が多機能化 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が共に子どもを育てるためのスペース ・多様な人材が作業できるスペース ・情報交換やコミュニケーションが得意なスペース ・機能拡充による高機能化・多機能化 ・事故発生防止や防犯機能の確保 ・開放するエリアの明確な区分 		<ul style="list-style-type: none"> ■地域と学校が共に子どもを育てる環境 コミュニティ・スクールの核に、地域の人が活用できる情報交換やコミュニケーションを取り交わることができる学校 ■地域の交流の拠点となる施設 ・施設の複合化・多機能化により、地域が利用できる機能を有する ・児童生徒の使い易さや安全性を第一に、開放エリアや動線を工夫し、地域も活用し易い規模や機能とする 		<ul style="list-style-type: none"> 使いやすいロータリー 使いやすい駐車場 大きな駐車場 雨でも困らない駐車場 駐車場から入口まで雨に濡れないで入れる通路 駐車場からの導線の工夫 		児童クラブで送迎のスムーズなように ロータリー 広いバスと自家用車がとまれるロータリー 駐車場のスペース安全第一 広い駐車場 大きな駐車場 雨でも困らない駐車場 駐車場から入口まで雨に濡れないで入れる通路 多目的で安全な駐車場、駐輪		4C 4C 3C 1C 4C 4C 4C 3C		グループ	
地域や社会との共創空間		子どもを育てる学校		<ul style="list-style-type: none"> ■地域と学校が共に子どもを育てる環境 コミュニティ・スクールの核に、地域の人が活用できる情報交換やコミュニケーションを取り交わることができる学校 ■地域の交流の拠点となる施設 ・施設の複合化・多機能化により、地域が利用できる機能を有する ・児童生徒の使い易さや安全性を第一に、開放エリアや動線を工夫し、地域も活用し易い規模や機能とする 		<ul style="list-style-type: none"> 使いやすいロータリー 使いやすい駐車場 大きな駐車場 雨でも困らない駐車場 駐車場から入口まで雨に濡れないで入れる通路 駐車場からの導線の工夫 		児童クラブで送迎のスムーズなように ロータリー 広いバスと自家用車がとまれるロータリー 駐車場のスペース安全第一 広い駐車場 大きな駐車場 雨でも困らない駐車場 駐車場から入口まで雨に濡れないで入れる通路 多目的で安全な駐車場、駐輪		4C 4C 3C 1C 4C 4C 4C 3C		グループ	
<ul style="list-style-type: none"> ボランテニアセンターや市民活動センターの併設 地域コミュニティの拠点確保 ファミリーサポートセンターやシルバー人材センターを併設し、子育て世代のサポート（送迎など） 地域の中の学校①学校教育と社会教育のスペース 市民活動団体が活動できる場 市民活動センター？→学校の活動のサポート 細江のコミュニティセンターみたいな（体育館、会議） 地域の人が訪れやすいCSルーム 地域 コミュニティ活動に使用できる（イベントなど） 地域とともに（地域開放） 地域住民の利用可の施設 図書館（県とオンライン）、調理室、会議室 地域の中の学校②（会議室、体育館、家庭科室） 十分な駐車場を確保（地域の方がいつでも行ける） 高齢者も集える機能 子ども、地域が活用できる場 バザー、家庭用品 フアーマーズマーケット 調理スペースとカフェ 地域の人と子供たちが一緒に利用できる。子ども食堂ともできる 児童と高齢者 デイサービスの併設とか 地域の方、専門分野の方も子どもと一緒に使えるレベルの図書館 図書館（オープンスペース） 自習スペースも完備 地域への開放 図書館 地域の人も利用できる！ 図書館×カフェスペース（いこっとみたいな）大学生とかも学べるよう専門書とかも扱ってたらいいな 		<ul style="list-style-type: none"> ボランテニアセンターや市民活動センターの併設 地域コミュニティの拠点確保 ファミリーサポートセンターやシルバー人材センターを併設し、子育て世代のサポート（送迎など） 地域の中の学校①学校教育と社会教育のスペース 市民活動団体が活動できる場 市民活動センター？→学校の活動のサポート 細江のコミュニティセンターみたいな（体育館、会議） 地域の人が訪れやすいCSルーム 地域 コミュニティ活動に使用できる（イベントなど） 地域とともに（地域開放） 地域住民の利用可の施設 図書館（県とオンライン）、調理室、会議室 地域の中の学校②（会議室、体育館、家庭科室） 十分な駐車場を確保（地域の方がいつでも行ける） 高齢者も集える機能 子ども、地域が活用できる場 バザー、家庭用品 フアーマーズマーケット 調理スペースとカフェ 地域の人と子供たちが一緒に利用できる。子ども食堂ともできる 児童と高齢者 デイサービスの併設とか 地域の方、専門分野の方も子どもと一緒に使えるレベルの図書館 図書館（オープンスペース） 自習スペースも完備 地域への開放 図書館 地域の人も利用できる！ 図書館×カフェスペース（いこっとみたいな）大学生とかも学べるよう専門書とかも扱ってたらいいな 		<ul style="list-style-type: none"> 使いやすいロータリー 使いやすい駐車場 大きな駐車場 雨でも困らない駐車場 駐車場から入口まで雨に濡れないで入れる通路 駐車場からの導線の工夫 		児童クラブで送迎のスムーズなように ロータリー 広いバスと自家用車がとまれるロータリー 駐車場のスペース安全第一 広い駐車場 大きな駐車場 雨でも困らない駐車場 駐車場から入口まで雨に濡れないで入れる通路 多目的で安全な駐車場、駐輪		4C 4C 3C 1C 4C 4C 4C 3C		グループ			

施設 基本方針		学校再編計画		整備方針（案）		意見の分類			様原地域の意見	
施設	基本方針	具体策	整備方針（案）	大分類	中分類	意見	グループ分類	グループ		
地域や社会との共創空間	(1) 活動し易く、コミュニケーションを取り易い空間 (2) 交流の拠点となる施設の多機能化	地域と学校が共に子どもを育てるためのスペース ・多様な人材が作業できるスペース ・情報交換やコミュニケーションがでるスペース ・施設の高機能化・多機能化 ・事故発生防止や防犯機能の確保 ・開放するエリアの明確な区分	■地域と学校が共に子どもを育てる環境 ・地域の人々々が活発に情報交換やコミュニケーションを取り交わることができる学校 ■地域の交流の拠点となる施設・施設の複合化・多機能化により、地域が利用できる機能がある ・児童生徒の使い易さや安全性を第一に、開放エリアや動線を工夫し、地域も活用し易い規模や機能とする	プールの地域開放 体育館の地域開放 グラウンド・屋外空間の地域開放	温水プール	体育館（プール一体）大・小 地域への開放（利用料） 長期休業中は一般開放できるプール（水泳教室つき） プール（温水）年中利用可能 地域への開放（利用料） 体育館に観覧席（イベントホールとして地域や企業に貸し出す）→地域の活性化 演劇、映画上映の為に多目的体育館 地域が自由に使える体育施設（ナイター設備のあるグラウンド、体育館） ホール機能を備えた最新設備の体育館 体育館等施設を利用してのサークル活動 グラウンドに観覧席（各種イベント等、地域に貸し出す）→地域の活性化 グラウンド（多目的利用）水はけ、公園のような施設と一体 地域への開放 地域の人が来やすいコミュニティルームがほしい	地域連携施設 地域連携施設 地域連携施設 地域活性化へ活用 地域活性化へ活用 ハード面 地域 共働 地域活性化へ活用 地域連携施設 コミュニティ	3C 3C 3C IC IC 3 2 2C IC 3C IC		
				公園 コミュニティルーム ホール 美術館・博物館 農園	公園 コミュニティルーム ホール 美術館・博物館 農園	協働農園 授業（理科総合、生活）地域と先生 農園（様々な広さ）→販売へ（産物） 地域との共同による作業 農園がたくさんある学校 校内の田んぼ、ブドウ畑 大小様々な農園がほしい。大小様々な花壇がほしい 農業体験ができる畑 収穫したら→フアーマーズマーケットで売る！ 農園ハウス 田んぼ、ぶどう、イチゴ 習い事教室 子供、大人共に IT教室 一般公開 学校診療所 Dr. 保健師、Ns 校舎の近くにグラウンドゴルフ場（小グラウンドでも可）があって地域に開放して欲しい 海と山がある地域を生かしたスポーツ活動などが出来る施設 図書館、校庭等は農園、共有スペースで利用 市内の歴史を展示するスペース	地域との交流が出来るコミュニティスペース（特に高齢者との交流の場） 多目的ホール 地域の人が使える 高機能な音楽ホール（音楽会、コンサート鑑賞、etcにつかえる） 牧之原市博物館、歴史資料館との併設 博物館 歴史資料館 牧之原市の歴史が学べる 美術館 協働農園 授業（理科総合、生活）地域と先生 農園（様々な広さ）→販売へ（産物） 地域との共同による作業 農園がたくさんある学校 校内の田んぼ、ブドウ畑 大小様々な農園がほしい。大小様々な花壇がほしい 農業体験ができる畑 収穫したら→フアーマーズマーケットで売る！ 農園ハウス 田んぼ、ぶどう、イチゴ 習い事教室 子供、大人共に IT教室 一般公開 学校診療所 Dr. 保健師、Ns 校舎の近くにグラウンドゴルフ場（小グラウンドでも可）があって地域に開放して欲しい 海と山がある地域を生かしたスポーツ活動などが出来る施設 図書館、校庭等は農園、共有スペースで利用 市内の歴史を展示するスペース	コミュニティ 学び 文化・芸術 文化・歴史 文化・芸術 文化・芸術 共働 地域連携施設 地域 学校農園 コミュニティ 食育 食育 共働 共働 福祉・医療 コミュニティ コミュニティ コミュニティ 地域活性化へ活用	IC 4C 5C 3 5C 5C 2C 3C 2 3 IC 5C 5C 2C 2C 5C IC IC IC IC	

施設 基本方針		学校再編計画		基本方針（案）		意見の分類		様原地域の意見		
		具体策				大分類		グループ分類		
地域や社会との共創空間	(1) 活動し易く、コミュニケーションを取り易い空間	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が共に子どもを育てるCSのためのスペース) ・多様な人材が作業できるスペース ・情報交換やコミュニケーションがとれるスペース ・事故発生防止や防犯機能の確保 ・開放するエリアの明確な区分 		<ul style="list-style-type: none"> ■地域と学校が共に子どもを育てる環境 ・コミュニティ・スクールの核に、地域の人々が活発に情報交換やコミュニケーションを取り交わることができる学校 ■地域の交流の拠点となる施設 ・施設の複合化・多機能化により、地域が利用できる機能を有する ・児童生徒の使い易さや安全性を第一に、開放エリアや動線を工夫し、地域も活用し易い規模や機能とする 		給食センター 地産地消 加工所 児童クラブの人数を多くできないか 児童クラブを入れてほしい 児童クラブを近い所にできないか 地域の中の学校⑨学童（放課後児童クラブ） 放課後児童クラブを併設 放課後児童クラブの併設（旧小学校毎に使用するの、か、新学校に一つにするのか？） 放課後児童クラブ併設 児童クラブ併設 学童を併設		給食 食育 食育 子育て支援 子育て支援 子育て支援 子育て支援 ハード面 共学 共学 学童 学童		5C 5C 2 2 2 2 3 2C 2C 4C 4C
	(2) 交流の拠点となる施設の多機能化	放課後児童クラブの充実								
5 働きやすく充実した指導ができる学校		方針6) 教職員の充実した指導を支えられる執務空間								

第4回検討会 榛原地域「コンセプト決め」意見まとめ

両地域共通案]	① ワタシをつくる みんなの学校
	② 夢につながる みんなの学校
	③ ミライをつくる みんなの学校
【榛原地域案】	④ 地域と共に わくわく学び・体験できる みんなの学校
	⑤ 地域の伝統文化を守りながら 未来に向かってチャレンジできる みんなの学校

⇒ 決定

意見		グループで選出したコンセプト		
グループ	意見メモ	案 No.	模造紙	
1	「地域とともに」 みんなでつくっていく わかりやすく入っている わくわく学ぶ 地域あつての学校 わくわく学ぶ とても良いことば CSのコンセプト「地域とともに」 長すぎる？ 「地域」 ⑤も迷った 伝統文化なくなると不安 何とか入れたいが... 漠然とはなく、見て意味がわかる 具体性 「地域」は入れたい 学校大きくなる 地域の重要性を出したい 「地域」に伝統文化を これまで大切にしてきたもの	全員一致 『地域と共に』 → みんなで作っていく ・地域あつての学校 ・コミュニティ・スクール → 「伝統文化」も含む 『わくわく学び・体験できる』 → 「わくわく」がとても良い言葉 ・少し長い気もするが けずる言葉がない	模造紙 	発表時の説明 ・コミュニティ・スクールのコンセプトが地域と共に作る学校となっており、どうしても外したくなかった ・全員一致 ・これでは長すぎるのではという意見もでしたが、削除する所がない ・5番の伝統文化という言葉も入れたという話になったが、地域とか体験という言葉に入ると考えた
2	④ グローバル・未来・ソフト面の役割かも？ ハードのコンセプトとしては④がいい 学校は地域に相ざすもの 地域開放スペースをつくる＝地域が大事 今と何が違うの？→開かれた学校となる 相良と違うものが○ ハード面 地域になじむ所 車の取りまわしの問題 ④ 学校の基本は学ぶ場所 勉強・学び 学びの充実 大切にしたい 地域の人が入れる場所ができる ③ 「未来の私の出発点」キャッチフレーズ 子どもたちの夢希望をつくる場所 ミライ＝夢 榛中「こころざしを育てる」学校教育目標 ③ グローバル 多様性 地域愛も大切だが仕事をやるようになってから力をつけられるように 楽しいばかりが学校ではない ② さしさわりのないイメージ 誰に対しても平等な印象 地域に開かれた学校とは？	☆今までの学校と何が違うの？ ・地域に開かれた学校になっていく ・共有スペースが作られる 地域になじむ学校施設でなければならぬ。 (グローバル・ミライ →ソフト面で考えること) ④	模造紙 	発表時の説明 ・コンセプトがいくつかあつてどれも大事。 例えばグローバルと地域は方向性が逆のコンセプトだが、子どもをみたときにどちらも必要で、これは最終的にソフト面でカバーしていくべき ・義務教育学校に共有スペースができて地域の人が入るとなると、ハード面のコンセプトは絶対的に必要 ・榛中周りの車の取り回し回りの悪さなど課題を解決して地域に相違したものにしなければならず、足を固める意味で地域にフォーカスしたほうがいい ・地域の人が認められる、歓迎される学校であるというのが学校が長くあり続けるという意味でも大事なのでは

意見		グループで選出したコンセプト	
3	新しい学校 地域に1つ(4小1中) 榛原	<p>④ 地域と共に わくわく学び体験 みんなの学校</p> <p>地域と「関わり」学び「体験」 を通して「ワタシ」を育てる 自分が好き・友達が好き・多様性 を育てる</p> <p>ワタシ (ミライ) みんなの学校 (地域とともに)</p>	<p>・1番の「ワタシをつくる」は自己肯定感や自尊感情という大切な部分。特に多様性を尊重し、いろんな子どもたちを拒めず大切に育つような学校にしていきたい。ただ、建物のコンセプトとしては4番が適しているのではないかと</p> <p>・地域と関わったり学んだり体験をすることを通して「ワタシ」を育てていくというのをサプテーマにしたらどうか。その中で自分・友達が好きになり多様性を尊重していくような子どもたちを育ててほしい。みんな大好きな学校になったら良い</p> <p>・コンセプトの「みんなの学校」に、学校、地域、保護者みんなが育てる、地域との繋がりといい意味が入っており、あえて地域という言葉を入れなくても良い</p> <p>・ハード面では、学んでいくのは子どもたちなので、子どもたちが確たる自分を作っていくってほしい。そこから未来に広がっていくハードな建物が1番理想。全部の意味が入っているのが一番良いのではないかと</p>
	各校の思い 創る 伝統 みんなで		
	ワタシ 5才・3才→多様性・個性 を認める		
	ワタシをつくる 成長=自分らしくなっていく		
	④の中で①を育てる		
	自分が好き → 友達も好き		
	④ 建物のコンセプト というところ		
	1年間の「地域」牧之原の特色		
	学校に来ることがたのしい		
	地域 学区の広がり		
区別なく 人として			
関わり広がり			
ワクワクする 体験			
広がっていく=多様性			
地域と共にワタシをつくるみんなの学校			
地域色だけでなく 地域との協力			
榛原の子を育てるといふ視点			
①+③ワタシをつくる ミライをつくる			
外で通用する人が出てくる ① or ③			
強い個をつくる→ミライにつながる			
学校は地域と一緒に成り立たない			
① 榛原キャッチフレーズ「みらいの私の出発点」			
グローバル・多様性			
4	①	グローバルの人が多い 小さい時から一緒に。グローバルとこぼさない いろいろいる子がいる	
地域と学校 二人三脚で			
地域と共に学び ミライをつくる			
みんなの学校 ここに地域の解釈を			
地域をコンセプト内へ			
子供の可能性 (ミライ)			
②+③ 夢(子供たちの) ミライ あわせる			
子供主体がよい			

第4回検討会 榛原地域 「必要諸室と施設の複合化・多機能化・高機能化(案)」 意見のまとめ

区分	室名	意見分類	意見	グループ	
学校全体		木質化	木質化をしてほしい	4	
		水道の数	水道の数が少ない	4	
		ICT 環境整備	RCなのでWiFi電波はしっかりつながるように	4	
		防犯	門で囲まれた学校	地域からすると入りにくい。開かれた学校とは言えない	2
			外部から入ってくる人 顔認証 やりすぎでは？		2
			セキュリティ 中から外 とび出していく子の把握		2
		防災	防災機能は分散していた方がよい		1
			防災機能はしっかりつけてもらいたい 防災倉庫		2
			感染対策(隔離できるスペース)		3
			防災グッズ 今の広さだと足りない 避難所の近くに		3
			マンホールトイレ外に(水位が高くなっても使えるように)		3
			発電システム(水位が高くなっても使えるように)		3
			空調バリアフリー		3
		自然エネルギー活用	安全に火が使えるように		3
建物全ての屋根にソーラー 収入・災害時			1		
蓄電池もほしい			1		
普通教室	普通教室	広く	教室が狭いのはよくない	4	
		収納の充実	荷物置き場がちゃんとほしい	4	
		教室数を増やして	もっと多く必要になると思う	2	
		児童生徒更衣室	更衣室の整備 子どものための更衣室(男女)作るべきでは？	2	
特別教室	理科教室	教室数を増やして	中学 理科教室 少ない	4	
		芸術教室	教室数を増やして 地域開放のための管理 図工室 作品棚 管理が大変	4	
	音楽室	音楽室	音楽室も少ないかも	4	
		音楽室の地域開放	音楽室 楽器などを使われるのは困るが、部屋だけ借りられるのなら問題はない	2	
	家庭教室	調理室増やして	家庭教室 調理室 一つでは少ない	4	
		調理台高さ	調理室 調理台の高さ 低・高2つ必要かも	4	
		調理室電気容量多く	家庭科室 アイロンでとぶ 電気容量大きく	4	
		調理室の地域開放	調理室とランチルームを一緒にして開放	1	
	(特別教室全体)	教室数	特別教室群の数	4	
		地域開放する	子どもが大きくなっても関わられるようにしたい		1
			コンセプトが「地域と共に」なるべく開放したい		1
			南砺市ランチルーム 一人暮らしの人がコミュバスで食べに来ればよい		1
			モノはできても管理人 人を配置してもらわないと… 費用もかかってしまう(図書館・特別教室どちらも)		2
			夜間 調理室 良いと思う		
昼間 貸すことで学習に影響があってはいけない				2	
時間で区切る					
開放する				3	
教材・備品 準備室の広さ・数				3	
子どもの動線が長くないように			3		
コーラスやりたい人のニーズがあるのでは？		4			
地域開放への疑問	無理にやる必要はない 必要以上の開放は教員の負担増		2		
昇降口	カッパかけスペース	エントランスにかっぱかけがほしい	4		
多目的・地域交流	学校図書館	静かなスペースを整備	中心にあっても静かなスペースがほしい	4	
		地域開放する	学校図書館は魅力的であってほしい		1
			子供に特化した図書館であれば、長期休み中に通いたい！いっこつ+榛原図書館+学校図書館 合わせて蔵書数がやっとな？		1
			図書館開放のニーズある(勝小)		1
			防犯システムは入れるべき		1
			顔認証あれば安心		1
			後付けはできない。可能性あるなら作っておいた方が		1
			図書館ニーズある？蔵書の数・内容しだい =多機能化が目的になってはいけない		2
			市立図書館 ⇄リンク貸出 学校図書館		3
			榛原 50,000冊 学校 冊数少 借りる		3
			いろいろなジャンルの本		3
		卒業しても地域の人でも学校に来る機会になる		3	
		土日勉強したいなという使い方 学習スペース		3	
		自習室を併用したものを開放しては？←児童クラブの子が勉強できる		4	
		地域開放の必要性への疑問	文化センター充実するならいい		1
			わざわざ榛中の場所に行くか？アクセスの問題		1
			親は行くが地域の人あまり行かない		1
			コストをかけてまで地域開放するのか？榛原図書館との連携		1
			平日の管理者は校長(にじの丘) 教員の負担が大		2
			夜間 図書館を開ける メリット・ニーズある？中高生の自習室になってしまう？		2

基本構想
基本計画
資料

区分	室名	意見分類	意見	グループ			
多目的・地域交流	学校図書館	地域開放の必要性への疑問	校長の立場 子どもの安全が第一 気は違わなければならない	2			
			図書館 中途半端なものでは誰も利用しない	2			
			買い物しながら本借りる等 何かのついでなら使うかも。榛中の場所はそのためだけに行かないとならない。→ニーズ無いのでは	2			
			市立図書館 いこっと 榛原文化センター こっちを	3			
			学校図書館を地域に開放する必要があるのか？コスト	3			
			本を借りるというリスク	3			
			子どもメインの図書館で	4			
			相良に大きい 榛原もある 図書館は地域に開放するのか	4			
			安全面が心配	4			
			図書館開放のニーズはあるのか？	4			
			地域開放すると駐車場の問題	4			
			駐車場・託児がないと人がこない	4			
			地域活動室 (CSルーム)		コミュニティルームを開放部分の入口にする 管理人として地域の人がいる？	1	
		地域開放・複合化	公民館併設 みんな来やすい 公民館 市民協働センターが併設されるといいな いろんな団体の人が部活動の面倒も見る	1 1 1			
管理諸室	職員室	コンセント数多く	職員室のコンセントの数を多く	4			
	(仮)不登校対応室	不登校対策	相談室 不登校の子が人に見られないスペースあれば学校に来やすい	1			
			不登校の子が減る学校にしたい	1			
			横浜 中川第二中 平川校長の時 (H29-30) 学校内にフリースクール→不登校ゼロにフルールの機能を持ってくる	1 1			
屋内運動施設	体育館・武道場	防災対策	細小の体育館 会議室が併設 良いと思う	2			
			体育館の横にプールの水を飲料水にできる装置 補助金が使える 体育館を災害時防災スペース	3 4			
		地域開放	足りなくなるのでは？ 榛原地域として	2			
			体育館 ニーズはある。ただし、跡地利用 既存体育館がどうなるのか、それによって変わってくる。バスケ・バレー 無いと活動できない	2			
	各小学校の体育館が無くなる。いずれ更新必要 地域の発表会等にも使っていた		2				
	榛中レベルの大きさに市内全ての体育館利用者が集まってくるとバンクする 地域に開かれた学校とはいっても集中しすぎてしまうのはよくない キャパオーバー 体育館・グラウンド・武道場 今のように開放を		2 2 4				
	屋外施設	プール	屋内プールを	屋内 床の変動 冬も使える	3		
		児童クラブ室	併設	児童クラブ できれば学校内にあってほしい 安全	1		
細江 4つに分かれてる →1つにしてほしい 友達が多い 校内に欲しい 安心感がある 人・建物的に				4 4			
併設への疑問			地域の実情に合わせて設置すべき 300人の学童 実現可能なのか？ 駐車場が少ない 迎えこれる？ 子どもの気持ちの切替えができない	1 1 1 1			
			新しい学校？地域？どちらが楽？ 300人規模の子どもたち 一気に迎えに来た時バンクする 榛中の位置は買い物とかのついでに行けるところではない 300人を見る人用意できるのか。地域によっては榛中 本当に遠い 放課後児童クラブはまとめてよいのか？	2 2 2 2 4			
			地域ごと分散	各地域に学童あってほしい。スクールバスの利用 スクールバスのルートにして地域に分散したい(職員の負荷)	1 1		
				1.65㎡/人→500㎡ 小さな小学校ができるレベル。地域の施設を使った方がいいのでは？ 地元クラブ・学校クラブ 選択制もあり 集中も防げる	2 2		
			外構	農園・花壇	農園	理科園 農園	3
					周辺環境の教材化	学校周辺の教材化できるよう整備	3
地域とつくる外構					花壇時間かかる 学校できる前から子どもたちと地域でつくってもらう 外構など地域にやってもらう	1 1	
	学校跡地利用			体育館地域ごとにほしい 校舎の維持費 かなりかかる なくなる学校の活用法が決まっていない	1 1 1		

第5回検討会 榛原地域 「学校敷地と施設配置(案)」「エリア分けと動線(案)」 意見まとめ

意見分類		意見
棟配置		地域開放可能エリア・体育館 並列も。 ・・動線が短くなる
		動線も短くなる。体育館が近くなる
		渡り廊下がほしい
インクルーシブ教育		インクルーシブ教育、障害福祉計画、新しい学校でもちゃんとやってもらえるようにして インクルーシブ教育をどのように考える？教室のつくりやバリアフリー
施設動線	簡明な動線に	迷子にならないような構造にしてほしい
	各階接続	3階から下りずに管理棟へ
教室	バリアフリー	バリアフリー
	教室の向き	日の向き、教室の明るさ
	管理室を2階へ(洪水対策)	玄関、事務室、職員室、校長室等2階(気候変動)
	理科室数増やす	理科室、中→3、小→2、計5
	外国人支援教室	外国人支援教室 2or3 クラス
	職員会議室	職員が集まっての研修、会議の部屋は？会議室がほしい
記念室	児童生徒更衣室	子ども用更衣室。男女各階2
		小中学校資料館、倉庫
保健室	駐車場近くに配置	書庫(記念室) 4小学校分も含める 保健室の位置は駐車場に近い配置が良い。体調悪い子どもを歩かせない
給食等	アースランチ	アースランチの取り組みを引き継いでほしい
	自校給食	おいしい給食を1つの特色に。そのためにも自校式がいい 給食は自校式がいい。5校→1校になるので早くなる
体育館	広く	体育館もっと大きく。2階フロア、器具庫(小・中対応)、ステージの放送設備
	近く	体育館を広くする。エアコン必要 体育館までおい
	車両搬入	体育館に直接車をつけられるように
	防災対策	体育館内にエアコン、会議室(災害対策本部、避難所) 1階柔道場、剣道場、会議室(防災本部)、防災倉庫
グラウンド	小中分離など	機能するのか？(※グラウンドの調整池?) トラックを小中で分ける
	広さ・競技	トラックは400mでお願いします フィールドサッカーコートタッチ 100m
	日陰をつくる	グラウンド近くに日陰で休めるようなところがほしい
	その他	せっかく新しく作るなら、グラウンドがすぐ使えるような対策を講じてもらいたい スプリンクラー(ガン式)
プール	配置	プールの位置。道沿いは心配
		プールの隣に駐車場心配。一般の人がくる
		プール小さい？位置
		プールと体育館が保健室から遠くなる
		プールの日当たり(体育館に隠れる)
		プール日陰？
	屋根・日よけ	北側プールには日が当たらない→南へ プールが上から見られないところ。プールに更衣室あれば気になる プールが暑すぎてできない。屋根だけでもつけてほしい
	外からの視線を遮る工夫	日差しの影響 影になるような 可動式 プール周囲に最低限囲いが必要では？ 体育館から見えてしまう。見えないように
	屋内プール	室内プールにはできないか？ プールを屋内にしてくれたら嬉しい。外からでなく中で通れるようにしてほしい 官民協同でエースワンとか。市営プール兼ねて温水+室内。有料でも
	不要	プールは作らずに地域のプールを使っては？
災害対応	掛川市土方小プール。災害対応プール	
サイズ	プール 25m x 12コース、小プール	
遊具・広場	遊具が必要	小学生遊具は？
		遊具は作らない？ 遊具 遊具必要
	広場	芝の広場。水につからないところ 憩いの広場
花壇・畑		畑、花壇もほしい。中庭のようなスペースもほしい 花壇、ひまわり畑、コスモス畑、学校周りの景観づくりやあってほしい (※敷地?) もう少し広げて→畑
		花、野菜
		農園、理科園がほしい。砂場
		農園必要
外構の維持管理		川崎区が草取りしてくれている。PTAの作業が楽な様にしてほしい
		管理しやすい外構がいい。奉仕作業大変
		グラウンドゴルフ場をつくと、芝生化愛好家のみなさんが手入れしてくれる

意見分類		意見
史料館		地域愛、郷土愛の勉強できる史料館。図書館併設で子どもも大人も学べる 文化・教養の拠点としての学校施設、歴史を残せるような資料館とか
部室		部室？ 部室 部室、外用器具庫
児童クラブ		既存学校を児童クラブで使うには修繕が必要 児童クラブごと場所によって活動が全然違う。一か所になれば不公平さがなくなる 管理棟から視界をさえぎらない配置に児童クラブ 児童クラブは各地域に分散 児童クラブ増やす
テニスコート		(※現位置に?) テニスコート
ロータリー	屋根設置	ロータリーから濡れないで校舎に入れるように屋根がほしい バスの乗降時に屋根がほしい 静波方面のロータリー
駐輪場・駐車場	動線整理	駐車場から校舎までの歩行者の通路が必要 車と自転車、徒歩の動線安全なものに 送迎者とバスを分ける 駐輪場、車とぶつかる
	分散配置	駐車場、分散させないと集中してしまう 駐輪場を2か所にしてほしい
	スクールバス活用	参観日等スクールバスの利用(親)
管理・防犯	防犯カメラ設置	モニターカメラ。職員室から見えなくても工夫の仕方で見れる 定点のカメラ必要では?(管理棟から確認) 防犯カメラ 門扉はつけるのか?
防災		マンホールトイレ(災害用) 防災倉庫(外) 冠水しても子どもがおさまるまで暮らせるように
調整池		調整池分割の必要性? 1か所にならないの?
	活用の方法	調整池の活用法、スケートボード場?とか 調整池の上に駐輪場なら可? 調整池は臨時駐車場としての機能をもたせる (調整池) ← 駐車場 駐輪場
進入路		信号機は付くのか? 自転車はどこから入るのか? 車とバスとの動きの関連 細江、静波方面から来る子はグラウンドの中を登校? 静波、細江入口の動き
通学路		敷地内の通学路 通学路の動線 勝間田方面歩道設置 竹橋架け替える(歩道付き) 両側道路拡幅 静波、細江 歩行、自転車動線 拡幅歩道
その他		特別な特色が2つくらいほしい。この学校があるから牧之原市に住んでもらえるような A.L.Tの先生が常駐してくれたら休み時間に話に行ける 部活動、土日は地域活動日、平日は学校でやる 仮設校舎をつくらないというのはありがたいと思った。うちの子が今小2で在校中なので 各学校にある像などを置くスペースがあればいい 全てを開校に間に合わせなくても

第6回検討会 榛原地域 「地域開放と防犯について」 意見まとめ

グループ	意見	発表時の説明（要約）
1	<p>模造紙記述内容</p> <p>安全性。100%確保はできないが、管理のしやすさも必要 プール。勝手に入られて事故になったり。湖西の件。ある程度の仕切りは必要 管理が出来るなら入口が2～4あっても良い 子どもたち、地区ごと。色んな入口から入られて便利。坂部方面、静波方面。駐輪場もそれぞれ 広い敷地だどこからでも入れてしまう。過去他校の生徒が入ってきてケンカになったり 純粋な子たち。死角がないつくりが良い。囲うのも必要だが、あそこに誰がいるなどわかるような囲い方。事故事件の早期発見になる 区切りという意味でもフェンスはあったほうがよい。地域開放されていないとはならない 管理のしやすさのためにも囲ってもよいのでは？囲う＝開かれないうということにはならない 既往の道にとらわれず。学校への入口は複数あったほうがよい 建物と敷地の違い。敷地はどこまで開くか？セキュリティ大切 まちづくりの観点から将来の牧之原の形を考えて通学路なども考えては？そういう視点大事 防犯カメラ絶対必要。ガラスが割られたら原因がわかる。事故なのか事件なのか。人の出入りも記録が残る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯と地域開放の落としどころは難しい。フェンスで囲えば外から見えるが簡単に入って来られない ・防犯カメラの数はたくさん必要。校内でいじめをなくすことにも繋がる。死角を作らないことでようやく地域に開放できる ・入口について、誰でも入れる場所と学校の関係者しか入れない場所、その間に地域の方が使える場所の3か所がある。図書室などはマイナンバーカードなど地域住民だと証明して入る場所があってもよい。そこには防犯も必要 ・出入口は時間帯で区切ることも大切。登下校は色んな地域から生徒が来るため入口はたくさんあったほうがよい ・登下校が終われば門を閉めて、別で地域に開放される出入口を日中見張る。時間帯によって管理することが必要
2	<p>塀は少ない方がいい。地域の目が届きにくい 塀は少ない方がいい。樹木にすべし。見た目が悪い 塀は少ない方がいい。地域の人が入りにくい 塀は少ない方がいい。コンセプトと逆行する 生垣は管理が大変？でも塀は木がいい 全部を囲うような塀があるとコンセプトに合わない 外から見れる（見られる）ことも防犯対策になる 完全に死角となる所はしっかりとした塀を。その他は目立たないもので 地域の人が自由にできる公園のような場所と、校内のところは閉じているような場と分けるほうがよい 入口のところをグラウンドゴルフ場にして毎日ゴルフをやっている人がいたら防犯になる 塀の代わりにグラウンドゴルフ場をぐるっと回りにつくる 花壇づくりを毎月地域の人とやることで地域の人が見守ってくれる仕組みづくり 各小学校区ごとの地区別（5区）畑を作ると、地域の人に来て管理をしてくれたらよい。競い合う（川崎と静波は分ける） 地域の人が見守ってくれるような関係性づくり 塀は必要ではないか。全面的に開放した場合でもカメラで全て監視できるのか 開放する場合は入退する所は決めておく方がよい 開放するなら防犯ブザーをいたるところに設置する 防犯面が心配だから入口を決め</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全てを囲うとコンセプトと合わない。樹木で囲うほうがよいのでは ・安全面が心配のため至る所に防犯ブザーを設置したらどうか ・入口を決めて入ってくる人を確認したほうがよい ・地域と共にある学校なら、地域の人に学校に入ってもらい、子どもたちを見守ってほしい。花壇や、地区別の畑を作れば地域の方が見に来てくれる ・塀の代わりにグラウンドゴルフ場を回りに作れば、利用者がきて子どもを見守ってくれるのではないか
3	<p>生活道路の1つとして 細小のように複数の出入り口 外から中が見える。授業の様子がわかる（散歩しながら） フェンスの高さ 芝生、遊具行きたくなる 自由に遊べる。いつでも 車用の出入口、徒歩用の出入口 コミュニティスクール用の出入口 校舎内へのコントロールをしたい 校舎の中に入らなければいい 監視カメラ、人感センサー。アピール 門をつけるか？社会教育との兼ね合い プールは見えないほうがよい 保育園のイメージ。囲う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フェンス等で囲うことは大事で、高さは実情に合わせて決める ・全員が出入りする門は、管理面から付けるか、地域も方が出入りできるように付けないほうがよいのか。学校の現状では、正門に門が無く馬が置かれている。馬を置くより門を整備したほうがよいのではないか ・小学校の遊具が配置されるため、地域の子もたちに開放するべき。遊具エリア、駐車場エリアを分けて小さい子が遊べるようにしたい ・門を付けた場合、コミュニティスクールの関係者や保護者が忘れ物を届けた時、遅れてきた子たちがインターホンを押せば開けられるシステムが必要 ・門を付けるか付けないかは結論がでなかった
4	<p>コンセプト「地域と共に」の考え方（どこまで開放するか） 塀の役割。外から入られない、中から出ない 囲い方。フェンスなど中が見えるようにしたい。悪意がある人は入ってきてしまう 小学生の活動範囲だけ塀をつくる 子どもが外を気にしてしまう 管理する側は色んな人が入ってくると困る 今日誰が来るか把握しておきたい 授業の中で地域に入ってもらっている（学校からお願い） 門の管理、先生が大変 管理棟から見える位置に出入口をおきたい 防犯カメラは必ず多く設置。抑止力 立地的に不審者いないのでは。現状でOK 地域の人や当り前に入ることで防犯意識が高まる 車、自転車、徒歩のルートは分けたい 色んなところから登校してくるので出入口はいくつか必要 自転車道、桜並木とは別に整備してほしい 自転車用の入口は必要。そこから人が入ると気付けない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が見えるところがあるため、全てを塀で囲わなくてもよいのでは ・塀は中にいる人が出ない役割もある。外に出してしまう子も多く、必要 ・塀は高くなく、上はフェンスにするのがよい ・小学生の行動範囲は囲ったほうがよいのでは。全てを開放すると子どもは外が気になり授業に集中できなくなるなど、管理する側が大変になる。誰が来るか把握したほうがよい ・管理棟から見える位置に出入口を置きたい。職員室や校長室から登下校の様子が見えるのがよい ・防犯カメラは必須で、特に裏側に置いてほしい ・通学路は歩行者と車は分けてほしい。様々などところから登下校するため、一か所ではなく数か所あるほうが事故は減るのでは

第6回検討会 榛原地域 「基本構想・基本計画について」 意見まとめ

グループ	分類	意見	
		模造紙記述内容	発表時の説明（要約）
1	質問	4-3-2制はどのような形で施設に反映させているのか？ゾーニング、具体例。他校の実例など気になる	<ul style="list-style-type: none"> ・9年間の教育活動が充実する環境という項目の中で、4-3-2制の教育活動が充実できる配置や機能としますという一文がある。4-3-2制は中1ギャップの解消などメリットがあるが、書き方についてイメージがあるのかこれから探っていくのかを聞きたい ・1~9年生の授業時間を揃えるのか、伸びていくのか。時間が揃うと他学年との交流ができる ・図書室が明記されておらず、地域開放はしないのか。榛原地域に図書館があれば利用する人が多いのではないかと進捗や現状を聞きたい
		4-3-2制はどのような違いがあるのか？ゾーニング	
		II条件整理 1学校の区切りのところに具体例があればいい	
		8.9年生が受験のためにというのはイメージしやすい。4-3はどんな事例がある？4は1/2成人式、7は中1、リーダーシップの育成もねらい	
		図書室は地域開放しないのか？開放したら使う人は多いのでは？（駐車場も必要）	
	意見	学校のイメージも変わる。地域の人々が来て読み聞かせもしてくれたら嬉しい	
		4-3-2制は理にかなっていると思う。リーダーシップの育成大切	
		中学校の先生が入っていける。メリットだと思う。英語、社会、専門性	
		2.5km遠いという意見も出てしまうのでは？小学生が歩くには結構な距離	
		教員側の意識の変化も必要。「私低学年だから」と言っているようでは変わらない。小2→中3担任が当たり前にならないと	
2	質問	午前中5時間まで（40分授業）カリキュラムの変更もいいかも？柔軟な考え方で授業のあり方を考えてもらいたい	
		(1) ワタシ (2) ワタシ→子ども (3) 子ども 主語が？	
		カタカナ表記の「ワタシ」が気になる	
		防災倉庫の記述の違い。設備と整備、校舎内と施設内、どこにつくる？P 22.28	
		放課後児童クラブの指導員や管理者等の部屋や責任の範囲は？	
		子どもが安全確認のためのシステム導入を検討とは具体的には？P 12	
		子どもの安全確認のためのシステムとは？P 22	
		地域と共に子どもを育む「環境」をつくとあるが、具体的にどうするのか？P 22	
		地域らしさと表現できる仕様？具体的には？P 21	
		誰もが学校へ行きたいと思える空間とは何をしたいか？P 12	
意見	地域と社会のつながりとしてCS活用や地域貢献型授業などいろいろあるが、今後も今まで通りとするか、又は新しい事にも当然取り組むこととするのか。P 12		
	通学方法をキロ数で区切るのではなく、自由に選択することは難しいか？		
	コミュニティスクールに特化した設立準備委員会を作ってほしい（既存のCSDを含めて）		
	広域化によって地域との繋がりが希薄にならないように		
	既存のコミュニティスクール（5校）の良さを活かしてほしい		
	各区の農園を作って地域の交流を深めたい		
	工事中、在校生が困らないような配慮をお願いしたい		
	図書室は地域の人をつなぐ大事な場所になると思う		
	花壇、農園はガーデナーに監修してほしい（浜名湖ガーデンパークの佐原さんとか）		
	特別教室が将来的に地域の人々が利用できるのは嬉しい		
3	質問	ベンチをたくさん置いてほしい	
		「ワタシ」→「わたし」別の言葉のなる？自分？	
		P 12 (2) 「ワタシ」は子どもでは	
		コンセプト「地域と共に」が十分に叶えられるようなコンセプトになっていると思う	
		話し合いの意見がとても良く取り入れられていて嬉しい	
	意見	子どもがワクワクする空間。3Dプリンター、自由研究、ラゴ、探求心を極められるような	
		特別支援級の数は足りるか？	
		外にトイレある？必要	
		3ささえる (3) ア (イ) 太陽光を考慮した校舎の向きとはどういう意味か	
		子と先生のつながり、コミュニティはどこにある？職員室？教室？	
3	質問	適応指導教室とフリースクールについて、現在の考え方を知りたい	
		イングリッシュルームをつくる。英語だけで話す部屋	
		職員室の様子が外から見えるといい（先生誰いるのかな位）	
		オンライン以外のグローバルもほしい	
		テニスコートを学校施設内につくる、人工芝にすれば社会、体育施設として活用。ぐりんばるは飽和状態	
		体育館に現在と同様に災害時の発電システム	
		調整池>埋め立てた体積	
		地域に開放。ランチルームの設置。（地域の方にも給食を）交流も可	
		一人暮らしのお年寄りがスクールバスを利用し、来校、給食、交流、帰宅はどうか	
		この夏の暑さで低学年の下校時間が一番暑く心配だった。水筒の中身なし	
学校に行きづらい子どもの対応する部屋は、教室や会議室みたいなのは×。親しみやすい部屋づくり			
意見	学校以外の居場所		
	学童は夏の暑さで外に出られず、プールもない。ストレスが溜まっていた。発散する方法がほしい		
	学童で夏休みの給食を提供してほしい。施設があるなら		
	子どもの学校以外での居場所として、適応指導教室やフリースクールについて現在の考え方を知りたい。学校に行きづらい子どもに対応する部屋は教室や会議室では向かない。親しみやすい部屋がよい		

第7回検討会 榛原地域 「学校施設整備基本構想・基本計画（素案）について」 意見まとめ

	意見
基本構想	P18 学校図書館地域開放の可能性？
	P18 地域活動室授業の時もいつでも使える？
	P14 志→ころざし
	P5 書き方がそろっていない
	ワタシの表現の理由
	P17 給食受け室、エレベーターを管理エリアにした理由。 配膳に時間がかかる。普通教室に近い方が良い
	P10 スクールバス駐車場の安全性確保
	P10 通学方法。兄弟で通学方法が変わる。何か対応あるか
	P14 自治会・教職員。位置、大きさなぜ？
	P14 絵はあった方が良い。牧之原から出てグローバルに活躍。どこでも通じる
	「ワタシ」の表記が良い
	P14 左が良い。ワタシに近いところに保護者・教職員を置けばよいのでは
	文字多いと読まないの図は必要。左の方が良い
	イメージ図あった方が良い
	図はあった方が良い。説明文と図の表記の整合性が大事
	図はなきやグメ
	地域として考えている。図は相・榛別々に
	地域性ある。プロセス経てこの結論になっている
	相良・榛原のコンセプトが2つあるのなぜ
	基本計画Ⅰ
乾式とは	
P20 バリアフリートイレの意味？ トイレに限らず学校全体をみんなが使いやすいものにしてほしい	
基本計画Ⅱ	P37 G：部屋。P：器具庫。必要
	P37 CSD 学運協で話し合う場
	書庫、倉庫が必要（収納スペース）
	P32 キャットウォーク検討
	P27 イ（ウ）教室の半分をさらに半分にする？狭くないか？
	情緒学級は追加で部屋が欲しい
	通常級と支援級の間の子が多い
	P35 スクールバス置き去り対策
	室数が足りないということがないようにしてほしい
特別支援学級をどこに置くか。難しい	
特支教室、普通教室の3分の4の広さはどうか	
基本計画Ⅲ	P45 体育館を広く作ってほしい
	P48 調整池とグラウンドの水のキャパは足りているか
	徒歩通学の安全確保。通学路整備。スケジュール。

*章分けとページは素案段階のもの

第2回検討会 「通学方法について」 意見まとめ

*両地域の意見を掲載しているため最後に載せています。

テーマ	相良地域意見	榛原地域意見
学年と移動距離	教育委員会では個別の事情に配慮する考え方はあるはずなので、検討会では代表的な基準について議論をして、形にしていければいい	どうしても基準を決めなければいけない部分があり、基準を決めるとその境で不公平感を感じる部分があるかもしれない非常に難しい。一定基準を基本に、柔軟な対応が必要な部分を検討していくという方法がよいのではないか
	萩間に住んでいるため、バス通学の対象であり、よいと思う。中学校からは自転車通学となるが、希望すればバスにも乗れるならよいと思う	距離についてはどこかで線引きしなければならず、どういふふうにしても必ず色んな意見が出ると思うので一つの取り決めとしてありなのではないか
	提案の通学方法には賛成。子どもが3人おり、(上の2人はスクールバスなので) その通学方法と大きく変わらない状態で3番目の子につながっていける	保護者の方々等のアンケートでも現在の2.8kmという基準を緩和してほしいという意見が非常に多く、2kmなのかどうかという点については要検討としても、どこかで線を引かなくてはならないのでこういった形で示すのはよいと思う
	対象学年と距離は、もう少し柔軟に考えてはどうか。体格や障害の有無等を踏まえて判断できるようにすれば良いのではないか	坂部小学校の全1から6年生については、通学路に大変危険な坂もあるため、全員がバス通学ということならありがたいので、ぜひお願いしたい
	候補地が大沢IC北側となり、山越えをしなければならない子どもたちもいると思うので、通学手段の距離基準については慎重に考えてはどうか	7から9年生も含めてバスの活用ができるのでありがたい
	基本的な考え方はよいと思うが、高低差に関して考慮してもらえとありがたい	距離だけでなく体力や体格差など個人差があり、身体の不自由な方もいると思われるため、柔軟な対応が必要
	高低差を考えて通学方法を検討すれば良いのでは	体力面や体格面を考慮して利用条件を柔軟にしてもらえたら、保護者の皆様も安心と思う
	菅山や鬼女新田は高低差があるため一律に距離基準では厳しい	体格差や部活動の有無などによって選択肢の幅が欲しい
	学期末、学年末など荷物の多いときにバスに乗れるようにすることも検討に入れてもらいたい	中学生についても部活の帰りが遅くなる場合はバスが使えるなどの柔軟性があるとありがたい
	部活動のあるなし等で帰宅時間が異なるので、路線バスの活用と合わせて、帰りのバスの時間が複数あると良い	中学生についても、部活を終えて帰ると真っ暗な中の帰宅となる場合もあるため、やはり希望によりバス通学等の選択ができるとうい
	部活に関しては、バスの時間的な配慮をしてもらいたい	自分の住まいのエリアの小学生はみんなバス通学なのが中学からは自転車となり、それまで楽をしていた分一気に大変になる。帰りも相当遅くなるため、中学生もバスを利用してもいいということになれば大変安心だし助かる
	徒歩で2.5kmという高低差を考慮すると1時間弱かかる。歩道がない道路は非常に危険である。いろいろな問題を考えると全学年希望があればバス通学でも良いと思う	歩いて行くことは体にいいことだが、天候によっては親が送迎する日が年間何日もあるため、天候によってバス通学の選択ができればありがたい
	高低差があるため徒歩の距離を2.5kmと一律に設定するのは難しい。2.5kmであっても配慮し、希望があれば(バス通学の)対応をとるといった形も考えて対応してもらいたい	低学年や近距離であっても大雨注意報になると自家用車で送迎するという保護者の方もいるため、雨の日はバスに乗れるなど対応できるようにしてもらいたい
	1~2年生と3~6年生の括りはなぜなのか。3年生はまだかなり低学年という感じがするので4、5年生からという括りでも良いのではないか	自分の子供について置き換えると、朝は早く登校し、夕方は学童から帰ると食事して寝るだけで、時間がない。時間の短縮になるなら利用距離的に利用できない子もバスを選べるとありがたい
	4-3-2制を考慮して検討してほしい	距離と学年の線引きについては保護者の希望を含めて柔軟性を持って頂くとよい
	距離によって徒歩かバスかというのもあるが、住んでいる場所によっては、(近くても)本当に歩いてくるのが安全かということも考えないといけない	1、2年生が長い距離を歩くのは大変だと実感しており、1年生については柔軟に対応できるような体制が必要。歩くことの重要性もふまへ、基本の距離については色んな検討をこれから進めていければいい
同じ校舎に通うので6年生まで徒歩で7年生から自転車というのは、いかがなものか。同じ基準にしたほうがよいと思う	バス通学を希望制にして、半月からひと月で希望を取るなどで、やっぱり徒歩は無理だからバスにするとか、歩くことに魅力を感じたりワクワクやいろいろな発見があるということも考えると、いろんな体験をさせることもよい。そう考えると、家の人と相談しながらバスか徒歩か選択できるようにするのも、誰もが通いたくなる学校としてありなのではないか	
	対象学年などはどこかで線を引かなければならないため、1回決めてあとは柔軟に対応していくということがよい 距離ももっと短くしてもいいのでは 1年生だと大きい子と比べて距離感が大分違うと思うので、1、2年生についてはもうちょっと短い距離でバスが利用できるようになればありがたい 通学方法は誰もが通いたくなる学校を目指すためには大事なところであり、1年生2年生の2.5kmというのは少し長いと感じる 通学という朝のイメージがあるが帰りの方が気をつけないといけないことがあるため、融通がきく形で運行して欲しい バスの台数・コース・時間など、本当にたくさんないと網羅できないと思われる。雨が降ると信号機のところで大渋滞し、台風が来れば冠水するため、コースがどれほど必要でどこを通れば安全かなど、難しい課題を全て考えながら、1年生から9年生までの通学について検討しなければならない。心配なところは数々ある	
路線バスなどの活用について	バス停や運行本数の問題があるので、基本的に路線バスは使わなくてよい	路線バスは時間帯が限られており運用が悪く、使わないのでは
	路線バスで通学する場合は、国道を横断する必要があり、低学年では不安がある	路線バスは運営会社も学校も双方に利益があるようになればよいと思うが、路線バスだと生徒の乗り降りの確認が、特に低学年の場合は大変ではないかと思うので、スクールバスの方を希望する
		路線バスの活用は現実的には難しいと思われ、スクールバスの充実を考えてもいいのではないか 路線バスは朝はよいが、帰りのバスがないため利用しづらいところがある

テーマ	相良地域意見	榛原地域意見
路線バスなどの活用について		<p>本数が多くない現状から、選択肢として使える方は使ってもよいと思うが、路線バス活用には無理があると思われる</p> <p>路線バスは下校時のバスの充実を図らないと活用は難しく、おそらく使えないのでは</p> <p>路線バスについては、既存の路線に合う方は使ってもいいと思うが、そうでなければ路線を増やすのが難しいだろうと考えると、使えるのか疑問</p> <p>バス停が近い家は路線バスなども活用</p> <p>路線バス会社と相談ができるのならば、スクールバスと路線バスの時間の兼ね合いについても検討頂けると帰りの時間の選択肢が増えてくると思う</p> <p>選択肢がいくつかあることが非常に大事のため、スクールバスと路線バス両方必要と思うが、路線バスの時間が学校のスケジュールに合わないため、うまく対応できるよう時間の配置を柔軟にできればよい</p> <p>路線バスが併用できればよいが、路線数と安全性が課題</p> <p>現状、市民が使っているということも考えると、路線バスとの共存をして市が歩み寄り、企業側にも歩み寄ってもらうように声をかけて話し合うような形をとっていくべきではないか</p>
スクールバスの有償・無償等について	<p>秋間はバス通学になると思うのでスクールバスが利用できるとよい。無償で利用したい</p> <p>無償がよい</p> <p>地頭方地区はスクールバスの対象地区であるため、無償で通学できるとよい</p> <p>義務教育の一環なので無償が基本になるのでは</p> <p>無償の方がありがたい</p> <p>無償のほうがよいが、市に試算してもらってどうするか任せてはどうか</p> <p>公平感という考え方からも無償のほうがよい</p> <p>可能であれば無償の方が良い</p> <p>無償化が基本になるのではないかと</p> <p>無償がありがたいが、財政的に厳しいのであれば協力したい</p> <p>スクールバスを無償にすると、自主運行バスは有料であるため矛盾が出てくる。どう調整するかが問題</p>	<p>初めから無償だと後で有償とした場合に、説明が必要と思われるため、有償の可能性があるのであれば有償でもいいのではないかと</p> <p>バスの料金は無償だととてもありがたいが、市の財政も厳しい部分もあると思われるため、協力できる範囲で有償なのは仕方がないと思う</p> <p>無償がよいが市の財政と相談が必要だと思う。懸念材料や懸念事項を検討して問題がないかということが重要と思う</p> <p>義務教育なので基本的には無償だとよいが、自転車通学者の自転車購入における高額な負担との公平性や財政面から、有償も考えてもよいと感じる</p> <p>国の補助が確実にある保証がない限り、維持費や管理費等お金がかかるのであれば、多少みんなで負担をしていただいても今すべてに半額は自己負担としているので、抵抗は多くはないのでは</p> <p>無償で運用できたとしても将来どうなるかわからず、最初から無償でやるのではなく、故障など有事の際のためにも積立費用を取っておく必要があると思う</p> <p>最初から無償にするのではなく有償から始めたらどうか</p> <p>有償にすべき</p> <p>事情が個々異なるため有償がよい</p>
通学路・駐車場・ロータリー等		<p>自転車通学について大沢 IC 北側は高低差があるので道路、歩道の関係も十分検討してもらいたい</p> <p>スクールバスの停留所がどこになるのか</p> <p>今は小学生は集団登校だが、新しい学校も同じような考えならそこを詰めてもらえるとありがたい</p> <p>1～2年生について、2.5km 以内でも希望によってバス通学も可能とするということは、同じ方向・距離を登下校する子が5人いても、4人はバスだけ1人は徒歩という状況が生まれてしまう可能性もある。不審者のこともあり、今は1年生に1人で帰るということはさせていない。すべての子どもたちが安全に帰宅できる形を考えないといけない</p> <p>バス通学の子も子どもたちが増え、バスの台数も多くなる。バス、自転車、徒歩が全て同じ方向に向かうということで、交通安全に不安がある。学校敷地内にゆとりを持って場所を確保し、たくさんの台数のバスが入っても徒歩、自転車通学の子も子どもたちが安全なスペースが確保できれば良い</p> <p>にじの丘学園では車が入れるスペースがもの凄くきちんとしてられていたことを考えると、安全に子供たちを登下校させることができる広いスペースがあるということは、とてもありがたいことと思う</p> <p>ロータリーが必要なので、西側の敷地をロータリーにするなど工夫が必要</p> <p>大雨時に保護者が送迎に来る状況からしてもロータリーは余裕が必要だし、道路の冠水については改良をお願いしたい。1箇所だけでなく西側と北側の両方の道路が安全に通行できるということと、今のグラウンドの南側の道路あたりと体育館のある側の道路が一体的に整備できればよい</p>

テーマ	相良地域意見	榛原地域意見
その他	7年生は自転車通学になるが、自転車通学の場合、多くは高額な自転車を購入することになり負担が大きい。補助があっても負担である	朝は定時でまとめて通学できるが、帰りは学年により下校時間が違うため、バスの運用が課題。スクールバスや路線バスを待つ子供たちがどう過ごすか、誰が対応するかなど、見えない運用が必要。放課後児童クラブとの関係も含め、子供が安心安全に登下校できるよう検討が必要
	自転車通学にはヘルメット代や保険代もかかるので補助が欲しい	学童がどこにできるかが、5年生6年生の自転車を可能にするかということに大きく関わるのではないかと
	ベンチャー企業が市内で起業して移住してくる場合に、通学の問題が足かせにならないようにしてほしい	細かいことは言い出したらきりがなく、生徒一人一人の状況が違うので、始まってからも毎年学校が一生懸命検討して調整しなければならぬ。まずは大きな枠、新しい学校を建て替えながらどう使っていくかなどの検討が必要。前回瀬戸市で見に行った学校は大体のところは建設できたら一度引っ越しして、作りながら使っている。榛原中の生徒たちに対するケアなども大切
	個人的に学校に通ってくることの大変さに価値を見出していたので、負担について過度に考えなくてもいいかと思う	現状の通学の困難さ大変さが分かったが、通学での学年を超えた良い体験など教育的な部分や本人の成長を考えると、徒歩通学での重要性というのも非常にあると思う

新しい学校づくりに係る市民参加、周知等一覧

No.	年度	名称	主体・対象	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
1			教委	菅山小教職員	13	5月11日(水) 16:00～17:00			-
2			教委	萩間小教職員	13	5月19日(木) 16:00～16:30			-
3			教委	牧之原中教職員	13	5月23日(月) 15:45～16:15			-
4		再編説明会	教委	相良小教職員	30	6月6日(月) 15:45～16:45	再編計画について	市内小中学校教職員を対象に、再編計画の内容について説明を実施	-
5	教委		相良中教職員	28	6月8日(水) 15:00～16:00	-			
6	教委		牧之原小教職員	14	6月16日(木) 16:00～16:30	-			
7			教委	地頭方小教職員	14	7月6日(水) 15:00～15:30			-
8	R4		教委	榛原地域教職員	103	8月1日(月) 8:30～12:00			-
9		新しい学校づくり シンポジウム	教委	市内小中学校・幼稚園 等の保護者代表・校長・ 学校関係者・地域	266	6月11日(土) 13:30～16:30	講師：倉斗綾子氏 多様な学びを叶える学校づくり ～牧之原のミライをイメージしよう～ パネルディスカッション みんなてつくろう未来の子どもたちのための新しい学校	実際に他の学校が行っている取組等写真や話を聞くことができて、とてもイメージがつきやすかった。 パネルディスカッションでは、自分の疑問を保護者代表の方が代弁してくれてよかった。	201
10		市議会全員協議会(臨時)	教委	市議会議員	16	7月19日(月) 9:00～10:30	新しい学校づくりの検討方法等について(案)	学校用地の選定について及び学校施設整備基本構想・基本計画の検討について情報提供を行った。	
11		教育講演会・ 教職員研修会	教委	市内小中学校教職員・ 校長	232	8月8日(月) 9:00～15:30	午前の部：講師 池田哲哉氏 府中学園のあゆみ ～義務教育学校の可能性を求めて～ 午後の部：ワークシヨップ 「あなたが描く新しい学校とは？」	牧之原小中学校での小中連携教育の推進に関する実践発表 広島県府中市立府中学園前校長の池田氏を招き、講話を聞いた。午後はワークシヨップを行い、教職員からは多種多様な意見が挙げられた。	155

No.	年度	名称	主体・ 対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
12			教委	榛原中学校 3年生5学級	166	導入：5月23日 (月) 発表：11月17日 (木)	出前授業：2時限	※総合的な学習の時間における探究活動の テーマ「牧之原市活性化プロジェクト」 として、グループで学年に提案	166
13			教委	地頭方小学校 5年生1学級	31	6月17日(金)	出前授業：2時限	【個人】絵や文章 ・広いグラウンド(芝生やタータン)、たく さんの遊具 ・明るい教室や図書室 ・コンビニや自動販売機、カフェなど	31
14			教委	地頭方小学校 6年生1学級	28	6月17日(金)	出前授業：2時限	【個人】絵や文章 ・ダンスやプレイゼンができる多目的ホール ・エアコン付きの広い体育館 ・きれいなトイレ	28
15			教委	相良中学校 2年生4学級	133	導入：7月8日(金) 発表：10月5日(水)	出前授業：2時限	※総合的な学習の時間における探究活動の テーマ「牧之原市活性化プロジェクト」 として、グループで学年に提案	133
16	R4	出前授業	教委	川崎小学校 6年生3学級	72	8月31日(水)	出前授業：1時限	【グループ】専門誌から選択 ・タブレットを使用した授業、デジタル教 科書の使用 ・剥製などがある理科ゾーンの設置 ・人工芝や芝のグラウンド	72
17			教委	勝間小学校 坂部小学校 6年生2学級	46	11月7日(金)	出前授業：4時限	【グループ】横造紙※合同授業 ・「宿題をなくす」自分にあった勉強ができ るようにする ・「個性を大事にする」自分の気持ちを整え る場所 ・「思い出づくり」宿泊体験や学級対抗の行 事	46
18			教委	萩間小学校 6年生1学級	22	11月22日(火) 29日(火)	出前授業：4時限	【グループ】スライド ・バリアフリー(エレベーター・スロープ・ 段差をなくす) ・広々とした快適な教室、自習室などいろ いろな教室 ・きれいなトイレ、センサー式の水道	22

No.	年度	名称	主体・対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
19		校地選定委員会 第1回(榛原・相良 合同開催)	選定委員会		15	8月31日(水) 13:30～16:45	<ul style="list-style-type: none"> 委員長、副委員長の選出 選定委員会の進め方 候補地の考え方 各候補地の現地視察 	<ul style="list-style-type: none"> 費用面だけで決めてしまおうのではなく、教育的に判断していくべきだと感じた。 実際に候補地を見て話を聞いて、どの候補地についてもそれぞれ一長一短があるというように感じた。 	15
20		校地選定委員会 第2回(榛原地域)	選定委員会	学識経験を有する者、 学校関係者、保護者、 自治会	9	9月15日(木) 13:00～14:30	<ul style="list-style-type: none"> 各候補地の状況整理 候補地評価シート上の項目と点数配分 	<ul style="list-style-type: none"> 各候補地の特徴について議論。 評価シート上の項目及び点数配分についての意見。 	12
21		校地選定委員会 第2回(相良地域)	選定委員会		10	10月7日(金) 15:00～16:30	<ul style="list-style-type: none"> 各候補地の状況整理 候補地評価シート上の項目と点数配分 	<ul style="list-style-type: none"> 5つの候補地の中から最有力候補を選定する方法とする。 各候補地の特徴について議論。 評価シート上の項目及び点数配分についての意見。 	17
22		校地選定委員会 第3回(榛原地域)	選定委員会		9	10月7日(金) 13:00～14:30	<ul style="list-style-type: none"> 候補地の評価と最終候補地 提案内容のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に各委員に採点してもらった評価シートを基に最終候補地について議論した。 最終候補地に対する附帯意見について。 	22
23	R4	第1回新しい学校づくり 検討会(榛原・相良合同)	検討会	市内小中学校・幼稚園 等の保護者代表・校長・ 学校関係者・自治会代 表・市内企業代表	36	10月21日(金) 13:30～16:30	<ul style="list-style-type: none"> 学校再編計画について 先進地事例紹介 ワークショップ 新しい学校で大切にしたいこと 新しい学校に付けたい機能 	<ul style="list-style-type: none"> 第一に安心安全面(災害・防犯)についての意見が多く、第二に地域との交流により、子どもと大人が交流しながら子どもだけでなく大人も学べる環境としたい、という意見、施設面では暖かく温もりがあり施設・ラウンジ・チャイルドの整備の要望があった。 	176
24		校地選定委員会 第3回(相良地域)	選定委員会	学識経験を有する者、 学校関係者、保護者、 自治会	10	10月26日(水) 13:30～15:30	<ul style="list-style-type: none"> 候補地の評価と最終候補地 提案内容のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に各委員に採点してもらった評価シートを基に最終候補地について議論した。 最終候補地に対する附帯意見について。 	28
25		市PTA連絡協議会 意見交換会	教委	市内小中学校PTA会長、 校長	24	11月17日(木) 18:30～20:30	<ul style="list-style-type: none"> 学校再編計画について説明、意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> 再編や学校施設についてグループワークを実施 	24
26		先進地視察 新しい学校づくり検討会	検討会	市内小中学校・幼稚園 等の保護者代表・校長・ 学校関係者・自治会代 表・市内企業代表	23	11月22日(火) 8:40～18:00	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県瀬戸市立にじの丘学園の視察研修を実施 視察目的 1～9年生が学ぶ姿を実際に見る 先進的な学校施設を見学する 	<ul style="list-style-type: none"> 実際に小中一貫校を見ることで不安が払拭された。 	20
27		学校再編後の新しい学校の 通学に関する保護者 アンケート	教委	市内小中学校・幼稚園 等の保護者	523	11月22日 ～11月28日	<ul style="list-style-type: none"> 新しい学校での通学方法 徒歩、自転車、バス通学の対象距離 	<ul style="list-style-type: none"> 今よりも遠距離通学になる児童生徒についてバス通学を望む声が多い。 徒歩、自転車通学の良さに係る意見も。 	523

No.	年度	名称	主体・ 対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
28		校地選定委員会 第4回(相良地域)	選定委 員会	学識経験を有する者、 学校関係者、保護者、 自治会	8	11月28日(月) 14:30~15:30	・最終候補地の検討 ・提案内容のまとめ	・開校時期が遅れるが、最終候補地としての 変更はない。 ・1年でも早い開校を目指してほしい。	16
29		仁田町内会 役員説明会	教委	仁田町内会役員	16	12月19日(月) 19:00~20:00	報告書の提出に伴い、仁田町内会長より 地元説明会の要望があったため、仁田町 内会役員に対し、校地候補地の決定につ いて説明会を実施。	仁田地域の浸水被害に対する要望(勝間田 川や新川の河川改修)が多かった。学校が 建設されることについては異論はない、と のこと。	4
30		第2回新しい学校づくり 検討会 (榛原地域)	検討会	市内小中学校・幼稚園 等の保護者代表・校長・ 学校関係者・自治会代 表・市内企業代表	20	12月22日(木) 13:00~14:30	・通学方法別の対象距離 ・バス通学の有償無償の考え方	・バス通学は有償になっても仕方がないと いう意見も一定数あり。 ・単純な距離ではなく、山を越えなければ ならない等、個別の状況を見て判断して もらいたい。	40
31		第2回新しい学校づくり 検討会 (相良地域)	検討会		17	12月22日(木) 15:00~16:30		・バス通学は無償にしてもらいたい、とい う意見が多い。 ・単純な距離ではなく、山を越えなければ ならない等、個別の状況を見て判断して もらいたい。	34
32	R4	子ども ワークショップ	教委	市内小中学校児童生徒	15	12月27日	ワークショップ 学校ってなんのためにあるの? 学校がこんな場所だったらいいな	子どもの目線から見た新しい学校について 子どもが行きたいと思う学校の姿	99
33		第1回教職員向け ヒアリング	教委	市内小中学校教職員	88	12月28日 ~1月27日	教室に関するアンケート(ヒアリング)方 法及び対象職員は校長に一任 ・教室の形態について(オープン、セミ オープン、クローズ) ・新しい学校にほしい施設、いらなくな る施設	・オープンは少数。 ・セミアオープン、クローズの形態がおおよ そ半数ずつ。 ・パソコン室、生活科室はいらなくなる。 ・ほしい施設として、教材室、外国語室、 多目的ホール、図書室の充実等の意見が 挙げられた。	88
34		仁田町内会 説明会	教委	仁田町内会	37	1月16日(月) 19:00~20:30	仁田町内会より、より多くの方に周知を したいということと、町内会全体に呼び かけを行った上で説明会を実施。	全体的な意見としては、新しい学校が建つ ことに異論はないが、できる限り地域に迷 惑が掛からないようにしてほしい、という ものがあった。	19
35		相良中学校PTA役員会	教委	相良中学校PTA	10	1月20日(金) 18:30~19:00	学校再編計画について 校地の選定経緯について	・計画策定までの経緯、流れが理解できた。 ・前向きに進めていかなければならないと 感じた。	3
36		栄養教諭意見交換会	教委	栄養教諭部会	6	1月30日(月) 16:45~18:00	栄養教諭部委員会の要望により、学校 再編事業の概要について説明。	栄養教諭の中では自校式給食を望む声が多 かった。	7

No.	年度	名称	主体・対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
37		榛原中学校運営協議会	教委	榛原中学校学校運営協議会	12	2月3日(金) 15:30～17:00	学校再編計画について 校地の選定経緯について	・義務教育学校になった経緯について ・校地選定の経緯について	6
38		第3回新しい学校づくり 検討会 (榛原地域)	検討会	市内小中学校・幼稚園等の保護者代表・校長・学校関係者・自治会代表・市内企業代表	22	2月9日(木) 13:00～14:30	先進地視察報告 ワークショップ 新しい学校の施設の使い方の 学校のコンセプト	・地域に開かれた学校にしたいが、防犯対策と両立してもらいたい。 ・勉強以外のことを体験したり学ぶことができる環境が大事だと思う。	141
39		第3回新しい学校づくり 検討会 (相良地域)	検討会		23	2月9日(木) 15:00～16:30		・ここだけしかないものを。 ・地域の方も職員も子どもたちもみんな笑顔な学校。広大な空間で手を取り合って自ら学ぶ。	174
40		大沢区説明会	教委	大沢区民	10	2月14日(月) 19:00～19:45	相良地域の校地候補地が大沢IC周辺に決まったことから地元説明会を開催。	区民全体へ回覧により呼びかけたものの、地権者の方の参加が主であったため、用地取得がいつからか、補償はどのような進み方になるのか、といった内容が主となった。	4
41	R4	相良区説明会	教委	相良区民	30	2月16日(水) 19:00～20:30	地元町内会より説明会を開催してほしい旨の要望があったため、学校再編事業から候補地の選定に関して説明会を開催。	ハード面としては、現在の相良小中学校の場所に、新しい学校を整備することはできないのか。ソフト面としては、なぜ施設一体型とするのか、牧之原小中学校や、相良小中学校のような隣接型の施設分離型はどうか、といった内容であった。	6
42		牧之原市 子ども・子育て会議	教委	子ども・子育て会議委員(保護者、園長、企業、教員、主任児童委員、専門家)	23	2月22日(水) 19:00～19:15	牧之原市子ども・子育て会議の案件の1つとして、学校再編について説明。	再編計画の内容、策定までの経緯等	1
43		子育て支援センター相良 保護者意見交換会	教委	未就学児保護者	10	3月7日(火) 10:00～11:30	学校再編や義務教育学校について意見交換	人数が増えてクラス替えができるのはいい、HP等で随時情報公開したりこのような機会を随時やってもらいたいとの意見があった。 制服はどうなるのか、バスは出るのか、給食はどうなるのか、等の質問があった。	15
44			教委		5	3月15日(水) 14:00～15:30		前向きな考えを聞くことができ開校が楽しみになった、いろいろな意見があるが納得できるようなエビデンスを提示いただけるとよい、等の意見があった。	5
45		新しい学校づくり勉強会	検討会	市内小中学校・幼稚園等の保護者代表・校長・学校関係者・自治会代表・一般申込・市議会議員・教育委員	119	3月18日(土) 14:00～16:30	今津敏一先生講演 「義務教育学校の現場から」 参加者との質疑応答	・実際に義務教育学校に勤務した先生の話聞いて理解が深まった。 ・具体的な話がわかりやすかった。 ・地域の協力が大切だと感じた。 ・新しい学校について、子どもの立場で考えることが大切だと気が付いた。	71

No.	年度	名称	主体・ 対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
46			教委	地頭方小 保護者・教職員	200	4月14日(金) ※紙上開催	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています	紙資料を配布。説明及び質疑応答なし。	-
47			教委	勝間田小 保護者・教職員	150	4月15日(土)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています	紙資料を配布し説明。通学方法について質問あり。	3
48			教委	菅山小 保護者・教職員	120	4月19日(水)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています PPT:学校再編計画と新しい学校づくり	紙資料を配布、パワーポイント資料で説明。質疑応答なし。	-
49			教委	萩間小 保護者・教職員	130	4月19日(水)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています	紙資料を配布し説明。質疑応答なし。	-
50			教委	榛原中 保護者・教職員	550	4月20日(木)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています PPT:学校再編計画と新しい学校づくり	紙資料を配布、パワーポイント資料で説明。質疑応答なし。	-
51			教委	相良中 保護者・教職員	430	4月21日(金)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています PPT:学校再編計画と新しい学校づくり	紙資料を配布、パワーポイント資料で説明。質疑応答なし。	-
52	R5		教委	相良小 保護者・教職員	370	4月22日(土)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています PPT:学校再編計画と新しい学校づくり	紙資料を配布、パワーポイント資料で説明。質疑応答なし。	-
53			教委	細江小 保護者・教職員	350	4月22日(土)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています PPT:学校再編計画と新しい学校づくり	紙資料を配布、パワーポイント資料で説明。質疑応答なし。	-
54			教委	坂部小 保護者・教職員	110	4月22日(土)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています PPT:学校再編計画と新しい学校づくり	紙資料を配布、パワーポイント資料で説明。質疑応答なし。	-
55			教委	川崎小 保護者・教職員	350	4月28日(金)	配布:新しい学校づくり(義務教育学校)を進めています	紙資料を配布。説明及び質疑応答なし。	-
56		第2回教職員向け ヒアリング	教委	教職員	111	4月18日(火) ~4月26日(水)	図書館及び体育館、職員室、特別支援学級等に関するアンケート(ヒアリング方法及び対象職員は校長に一任)	図書館の数と配置、体育館や職員室、事務室、特別支援学級、相談室、保健室の配置、ほしい機能等の傾向を把握	111
57		学校司書連絡協議会における意見交換	教委	学校司書	5	4月20日(木)	新しい学校の学校図書館の地域開放について、学校教育課、社会教育課とともに学校司書と意見交換	学校図書館はあくまで学校図書館としての機能の充実を図るべき。児童生徒の利用を最優先。場所は学校の中心がいい。一般開放は、学校図書館としての機能を妨げない形でのようなことが可能か検討。	27

No.	年度	名称	主体・対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
58		第4回新しい学校づくり 検討会 様原地域	検討会		20	5月10日(水) 13:30～16:00	学校のコンセプト・整備方針(案) 必要諸室と施設の複合化・多機能化・高 機能化(案)	コンセプト:「④地域と共に わくわく学 び・体験できる みんなの学校」に決定	168
59		第4回新しい学校づくり 検討会 相良地域	検討会		20	5月12日(金) 13:30～16:00		コンセプト:「②夢につながらる みんなの 学校」に決定	147
60		第5回新しい学校づくり 検討会 相良地域	検討会	市内小中学校・幼稚園 等の保護者代表・校長・ 学校関係者・自治会代 表・市内企業代表	18	7月12日(水) 13:30～16:00	施設配置・ゾーニング ワークシヨップ形式	・造成敷地は2面より1面がいい。 ・グラウンドの広さが足りないのではない か。 ・プールは屋内化できないか。 ・総合グラウンドへ行く道がほしい。	77
61		第5回新しい学校づくり 検討会 様原地域	検討会		22	7月14日(金) 13:30～16:00		・調整池を臨時駐車場として使えないか。 ・給食は自校式がいい。 ・出入口は複数ほしいが、防犯対策もしっ かりしてほしい。 ・体育館の広さは足りるのか。	114
62	R5	市議会全員協議会(臨時)	教委	市議会議員	15	8月24日(木) 13:00～15:00	基本構想・基本計画(骨子案)	基本構想・基本計画(骨子案)について説 明を行った。	
63		第1回新しい学校づくり 勉強会	検討会	市内小中学校・幼稚園 等の保護者代表・校長・ 学校関係者・自治会代 表・一般申込・市議会 議員・教育委員	128	8月30日(水) 18:30～20:30	武井敦史先生講演 「今、なぜ牧之原ではキャリア教育なの か～「幸せな地域」を子ども目線で考え よう～」	・キャリア教育がこんなに市として進んで いるとは思わなかった。もっと多くの人 に知ってもらいたい。 ・再編するだけでなく、教育への取組が大 きく変わらうとしていることに希望がも てた。 ・教職員の中でももう少し共通理解が必要。	116
64		仁田町内会役員説明会	教委	川崎区長、区長代理、 仁田町内会役員	9	9月7日(木) 19:00～21:00	様原地域の学校の整備に関する施設の配 置案、造成方法等について、仁田町内会 の意見、要望を伺った。	学校ができることに異論はないが、地域が 暮らしにくくなるようなことがないように お願いしたい。水の問題、浸水被害が心配。	22
65		第2回新しい学校づくり 勉強会	検討会	市内小中学校・幼稚園 等の保護者代表・校長・ 学校関係者・自治会代 表・一般申込・市議会 議員・教育委員	135	9月23日(土) 10:00～12:00	生重幸恵先生講演 「キャリア教育とコミュニティ・スクー ル～これからの生きる子どもをみんなで 育もう～」	・コミュニティの関わりや、社会教育の大 切さを改めて感じる機会になった。 ・講師の熱量が、パワフルで経験に基づいた 話が興味深かった。 ・自分のモノサシ(自分が経験した学校) との変化を感じた。	118

No.	年度	名称	主体・ 対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
66		第6回新しい学校づくり検討会 椋原地域	検討会	市内小中学校・幼稚園等の保護者代表・校長・学校関係者・自治会代表・市内企業代表	18	9月26日(火) 13:30～16:00		<ul style="list-style-type: none"> 自然が見えるところがあるため、全てを掘って開くのもよいのではないか。 フェンス等で囲うことは大事で、高さは実情に合わせて決める。 地域の人に学校に入ってもらいたい、子どもたちを見守ってほしい。 防犯カメラの数はたくさん必要。 	120
67		第6回新しい学校づくり検討会 相良地域	検討会	市内小中学校・幼稚園等の保護者代表・校長・学校関係者・自治会代表・市内企業代表	18	9月29日(金) 13:30～16:00	地域開放と防犯 基本構想・基本計画	<ul style="list-style-type: none"> AI等のICTも大切だが人の目も大切。 一般の方にも開放することで不審者が来ないようになるのではないか。 ある程度中が見えて子どもたちの様子がわかるようにしたい。 安心して子どもたちが学ぶためには、他の人が入ってこられない工夫が必要。 	85
68		第7回新しい学校づくり検討会 相良地域	検討会	市内小中学校・幼稚園等の保護者代表・校長・学校関係者・自治会代表・市内企業代表	19	10月24日(火) 13:30～16:00			33
69	R5	第7回新しい学校づくり検討会 椋原地域	検討会	市内小中学校・幼稚園等の保護者代表・校長・学校関係者・自治会代表・市内企業代表	19	10月26日(木) 13:30～16:00	学校施設基本構想・基本計画(素案)	素案の文言、表現について気になる部分等の意見が出された。	47
70		市議会全員協議会(臨時)	教委	市議会議員	15	10月30日(月) 10:30～12:00	基本構想・基本計画(素案)	基本構想・基本計画(素案)について説明を行った。	
71		川崎区説明会	教委	川崎区評議員会	20	11月15日(水) 18:50～19:15	仁田町内会へ説明する内容(学校用地と施設の構想)について、区の評議員会の場を借りて事前に説明。		-
72		仁田町内会説明会	教委	仁田町内会	40	11月29日(水) 19:00～20:30	事前に提出された質問状に対する回答および、再編事業の概要、基本構想・基本計画の内容、椋原地域の造成、整備の案について説明。	浸水被害、付け替え道路、通学路整備等の要望を改めて聞く形となった。主要な質問については事前質問回答のとおり。神谷氏からは、地元公民館の機能(仁田町内会が優先で使える部屋)を学校内に設けてほしい、という話もあった。他に付け替え道路に隣接する住宅からは、通行する車両、工事の際の振動が心配との声があった。	20

No.	年度	名称	主体・対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
73		地域教育懇談会	静教組	教職員、保護者	36	12月2日(土) 9:30～	学校再編の取組や基本構想・基本計画(案)について説明後、分散会を開催。	<ul style="list-style-type: none"> 良いところと不安なところがある。デメリットの部分をもう少し聞きたい。 ハード面も重要だが、中身の面で魅力を持たなければならぬ。 子どもたちのことを考えてくれていて子どもファーストだったことがうれしかった。 	21
74		パブリックコメント	教委	市民、市内通勤通学者	56	12月5日 ～1月4日	学校施設基本構想・基本計画(案)	校地選定や通学手段、多様な子どもへの対応、特別教室の敷等について特に多くの意見があった。また教育環境や周知方法等についても意見があった。	177
75		市議会全員協議会(臨時)	教委	市議会議員	15	12月20日(月) 10:00～12:00	基本構想・基本計画(素案)	基本構想・基本計画(素案)について説明を行った。	
76		子育て支援センター相良あそぼっと 説明会	教委	未就学児保護者	7	12月21日(木) 10:50～11:10	基本構想・基本計画の内容説明、先進地の事例紹介、パブリックコメントの案内、質疑応答	通学方法に関する質問が多く聞かれた。部活動後のバスの運用など、保護者も乗れるのかどうか等の質問があった。	7
77	R5	高校生ワークショップ	教委	相良高校生	8	12月21日(木) 11:00～12:00	基本構想・基本計画の内容、先進地の事例紹介等の情報提供の後、高校生の視点から、新しい学校施設にあったらいいと思う部屋、いらぬ部屋などの意見を出してもらうよう、ワークを実施。	屋上に出ることができて景色が見れるといい、図書館にソファアアが欲しい、ボルダリングがあったらいいな等の高校生の視点からの具体的な意見が出された。	34
78			教委	榛原高校生	10	12月22日(金) 13:00～14:30		自習室や談話室、上級生から下級生へ勉強を教えてあげられるような部屋があるといい、友達とゆっくりに過ごせるスペースが欲しい、といった高校生の視点からの具体的な意見が出された。	68
79		大沢区説明会	教委	大沢区役員	34	12月22日(金) 19:00～19:30	基本構想・基本計画の内容説明、パブリックコメントの案内、質疑応答	子どもの人数の推移予測の仕方、複合施設の規模の決め方、ハード整備ばかりではなく、ソフト面も力を入れなければ意味がない等の意見が出された。来年度から設計に関する内容の検討を進めていくため、また区の方にもご意見を伺う旨を伝えた。	7
80		豊岡区説明会	教委	豊岡区役員、組長等	25	12月23日(土) 19:00～19:30	基本構想・基本計画の内容説明、パブリックコメントの案内、質疑応答	グラウンドの広さ、総合グラウンドへの道、ソフト面の充実、スクールバス	4
81		地頭方区説明会	教委	地頭方区役員、組長等	60	12月23日(土) 19:30～20:00	基本構想・基本計画の内容説明、パブリックコメントの案内、質疑応答	前期課程と後期課程、開校目標年度	2

No.	年度	名称	主体・ 対応	対象	人数	日時	趣旨・会議議題	主な意見や内容等	意見数
82		遠渡区説明会	教委	遠渡区役員、組長等	25	12月24日(日) 19:30～20:00	基本構想・基本計画の内容説明、パブリックコメントの案内、質疑応答	市全体で2校になるのか	1
83		子育て支援センター様原説明会	教委	未就学児保護者	20	12月25日(月) 10:00～11:00	基本構想・基本計画の内容説明、先進地の事例紹介、パブリックコメントの案内、質疑応答	学校敷地の安全性、放課後児童クラブ、スクールバス等について質問があった。また、早く開校して欲しい、保育園や幼稚園のPTA総会等でも説明の場を設けてはどうか、等の意見があった。	20
84		新庄区説明会	教委	新庄区役員、組長等	40	12月26日(火) 19:00～19:30	基本構想・基本計画の内容説明、パブリックコメントの案内、質疑応答		-
85		落居区説明会	教委	落居区役員、組長等	19	12月26日(火) 19:30～20:00	基本構想・基本計画の内容説明、パブリックコメントの案内、質疑応答	部活動、再編は決定か、バス停、便数、学校の規模、1校でいいのでは	5
86	R5	静波区説明会	教委	静波区評議員	25	1月15日(月) 19:30～19:45	基本構想・基本計画の内容説明、質疑応答	校舎が建つのは敷地内どの部分か	1
87		菅山区説明会	教委	菅山区役員、区民	46	1月18日(木) 19:00～20:30	学校再編計画～基本構想・基本計画の取組説明、質疑応答	現在の校地は津波が心配。 ・菅山小を残してそこに通うのが一番安全ではないか。 ・菅山小校舎の耐震基準はいつのものか。 ・事業費や財源、市民1人あたりの負担等はいつ示されるのか。 ・新しい学校で地域との関係はどうなるのか。 ・スクールバスが無償になった経緯、無償を「基本とする」の意味は。	10

参加人数合計 6,188人

意見数合計 3,989件

※市議会、教育委員会、市校長会等に随時報告。

※まちづくり推進本部会議、学校再編推進プロジェクトチーム（関係課長）、関係部署において随時協議。

**牧之原市義務教育学校施設整備
基本構想・基本計画**

令和6年1月

牧之原市教育委員会 学校再編推進室

〒421-0592 静岡県牧之原市相良 275 番地

TEL : 0548-53-2640 FAX : 0548-53-2657

E-mail : g-saihen@city.makinohara.lg.jp

